

成人向け
R18
ADULT ONLY



沼田水園

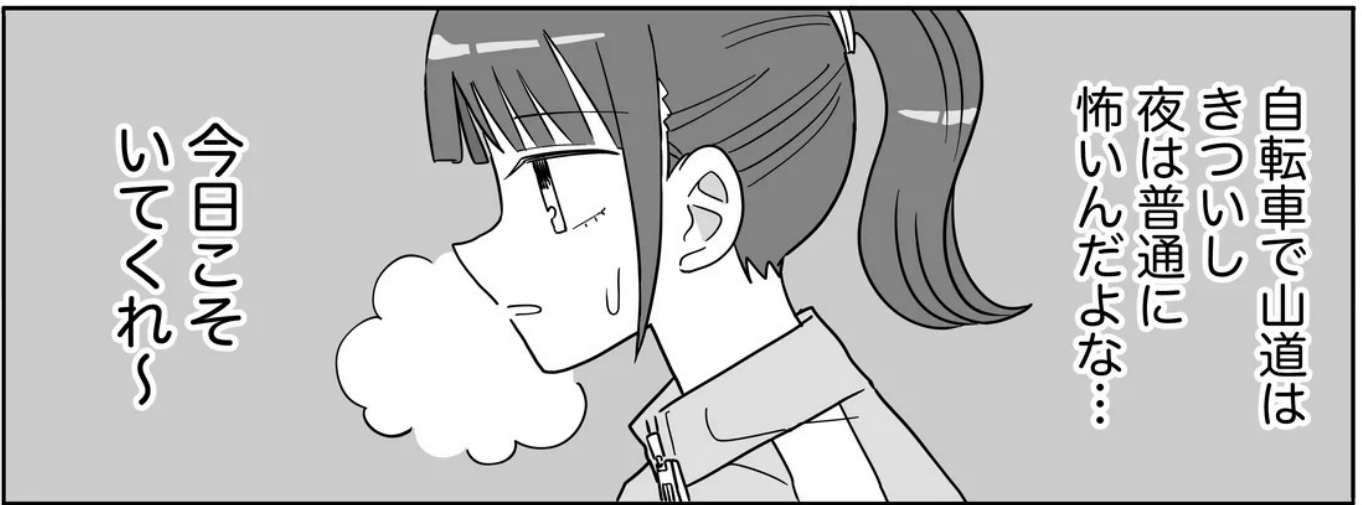
ヒキガエル

まだ寒さの残る
三月の半ば

私は度々
この山を
訪れていた

カ
チ
ッ





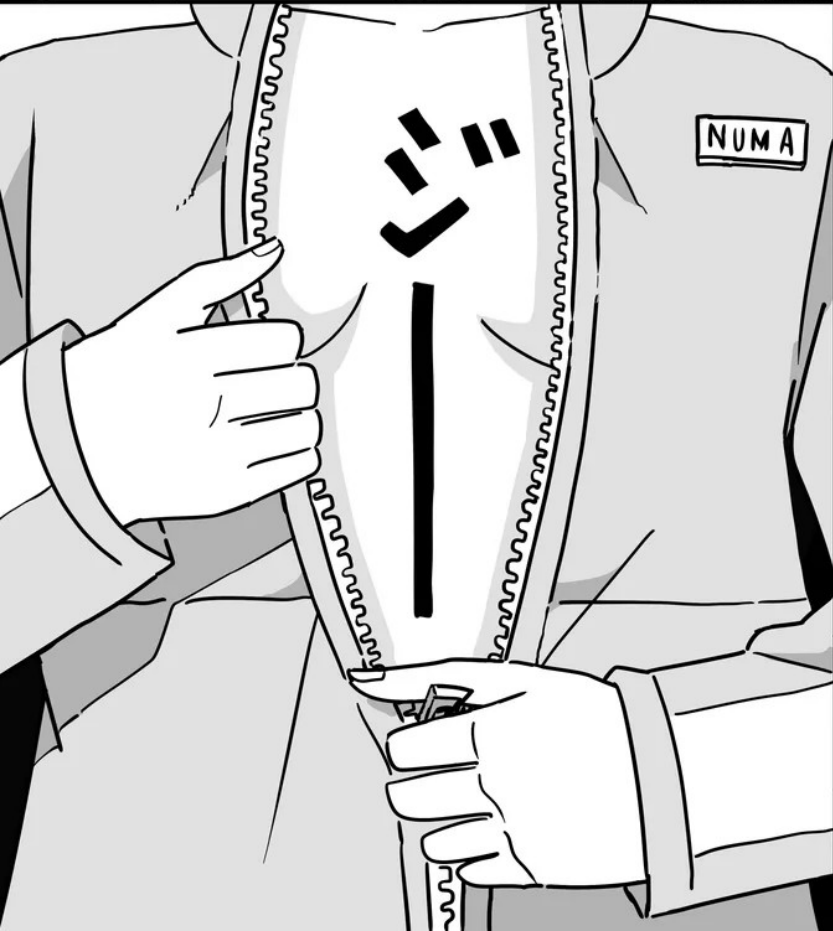


いたいた!



この季節になると
この山の池では
ヒキガエルの
繁殖が行われるのだ

やってるねー
盛ってるねー







ああ：
ひんやりした
空気が気持ちいい



去年の春
この山に山菜取り
にきた私は

おしり
冷たい…

偶然ヒキガエルの
産卵に出くわした

押し合いへし合い
必死で抱きつき
交尾する蛙たち

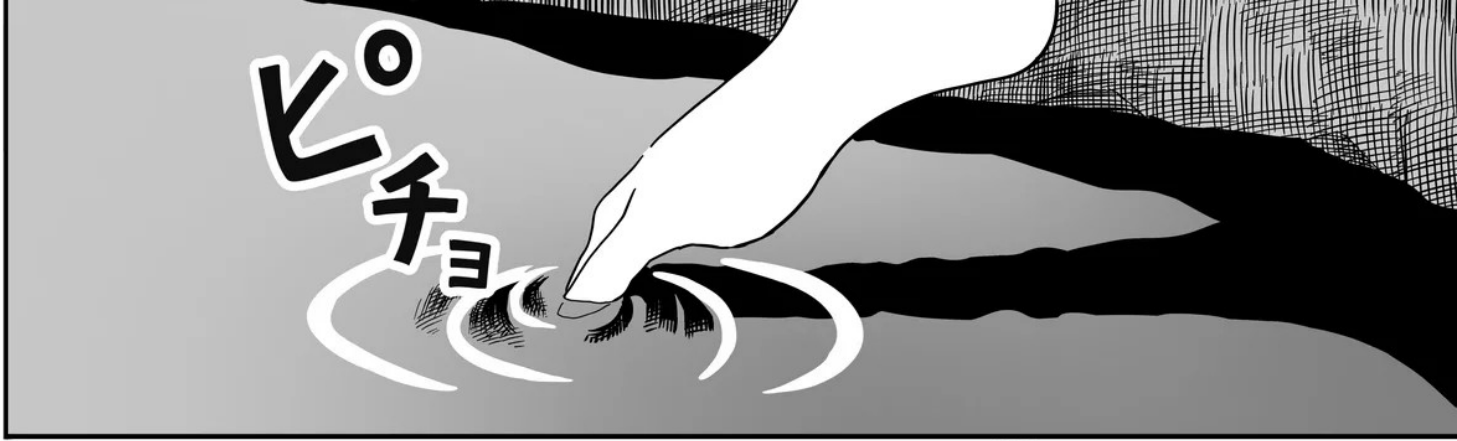
それを見ていた私は
急激にムラムラしてきて
その場で夢中でオナニー
をした

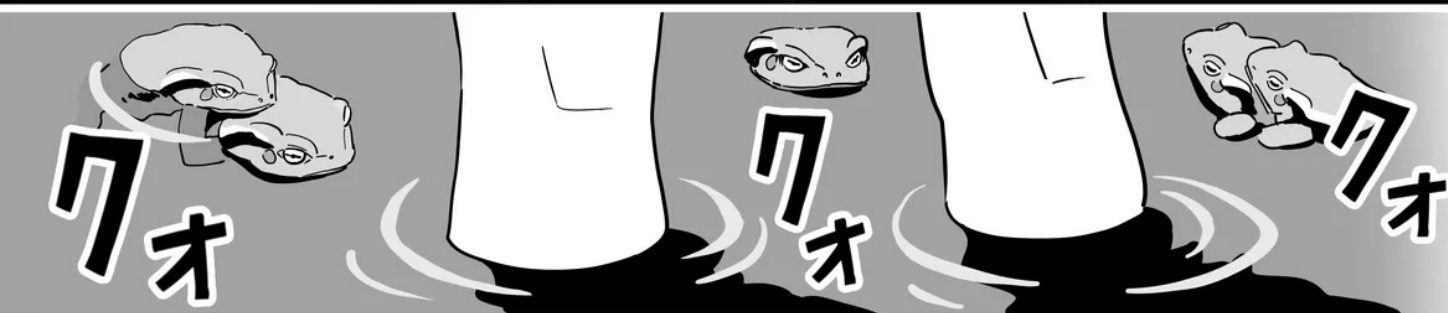
ちなみに
今回は思い切って
野外露出にも
挑戦している

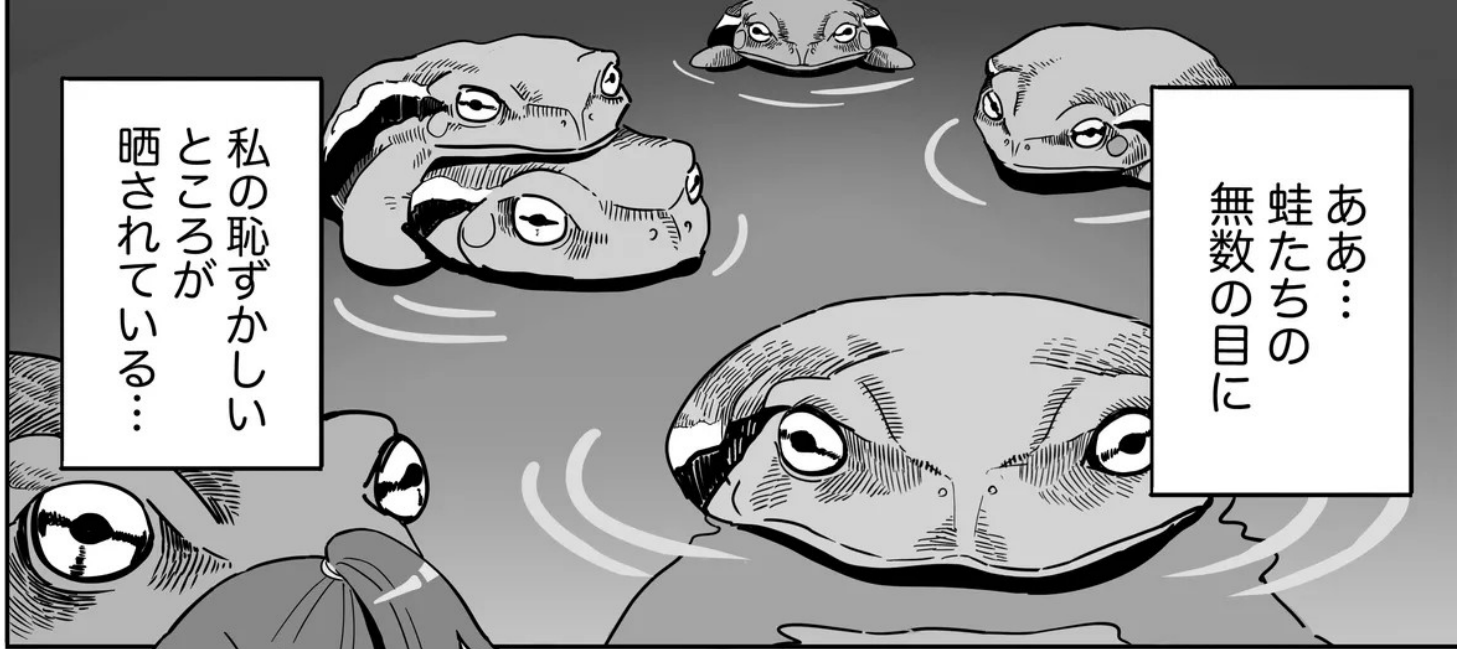
その時の感覚が
忘れられなくて
またこの時期を
狙って来た
…というわけだ



私も
混ざり
たい……!







ああ：
蛙たちの
無数の目に

私の恥ずかしい
ところが
晒されている…



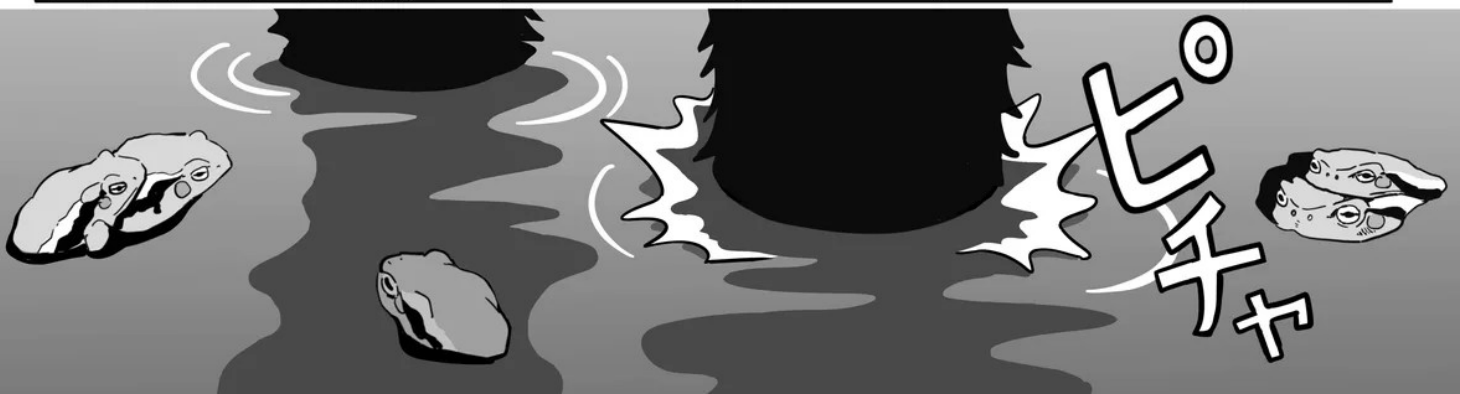
それでいて彼らには
私の裸なんて全く
無意味で無関心…

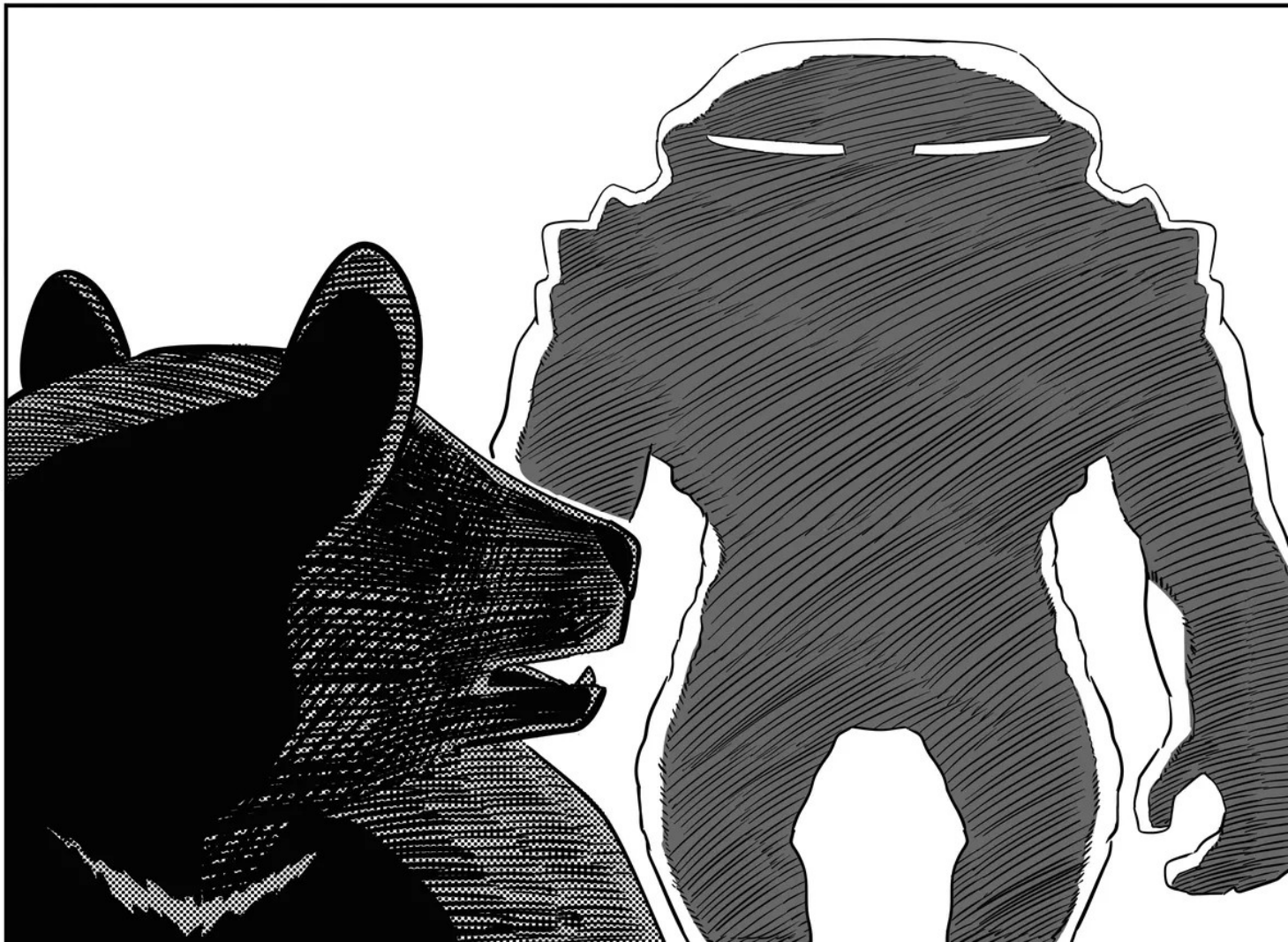
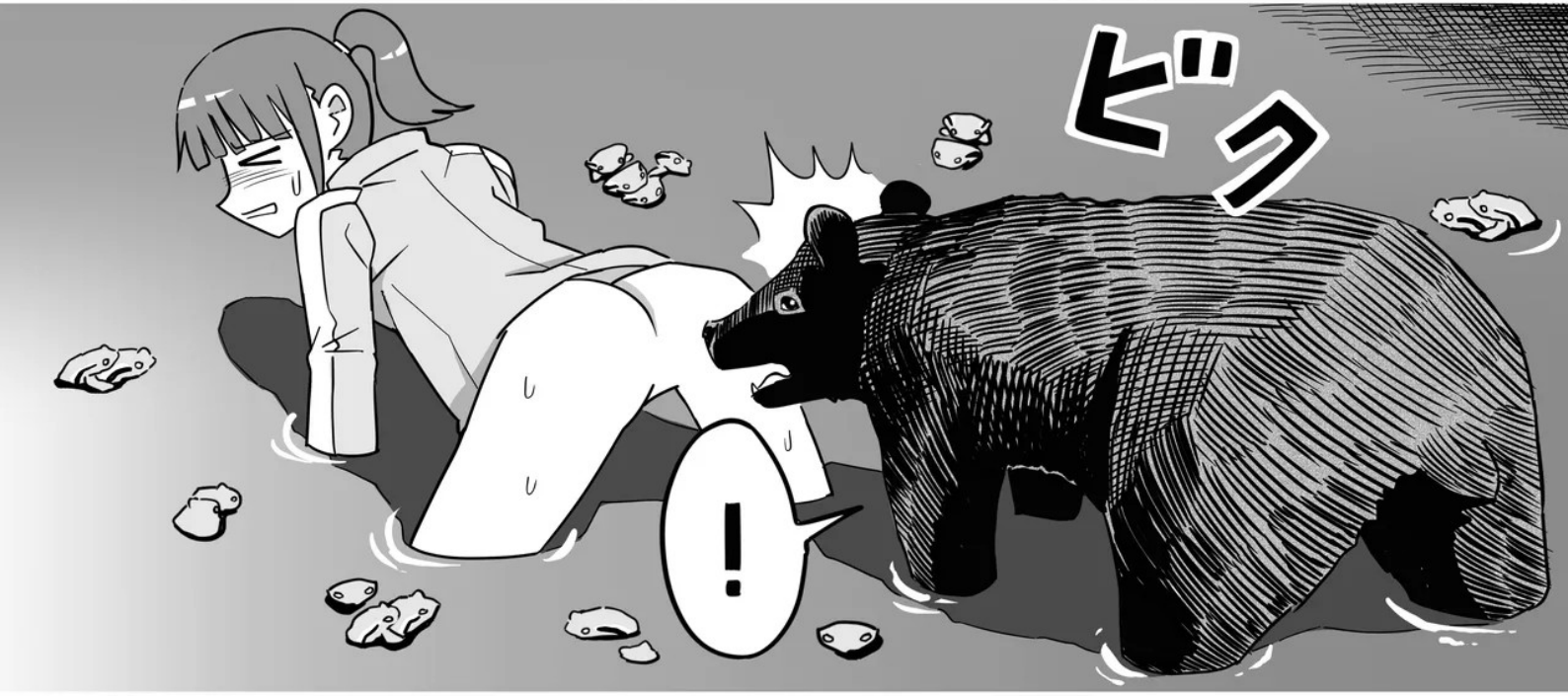
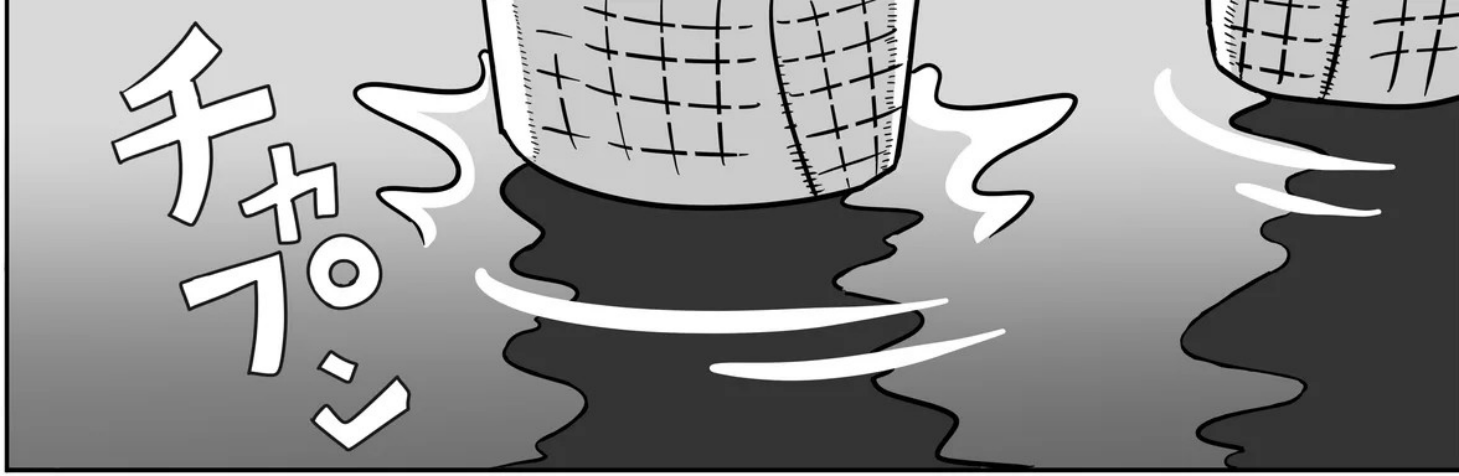
こんな痴態を晒して
いても咎めたりは
しないのだ…



ん…

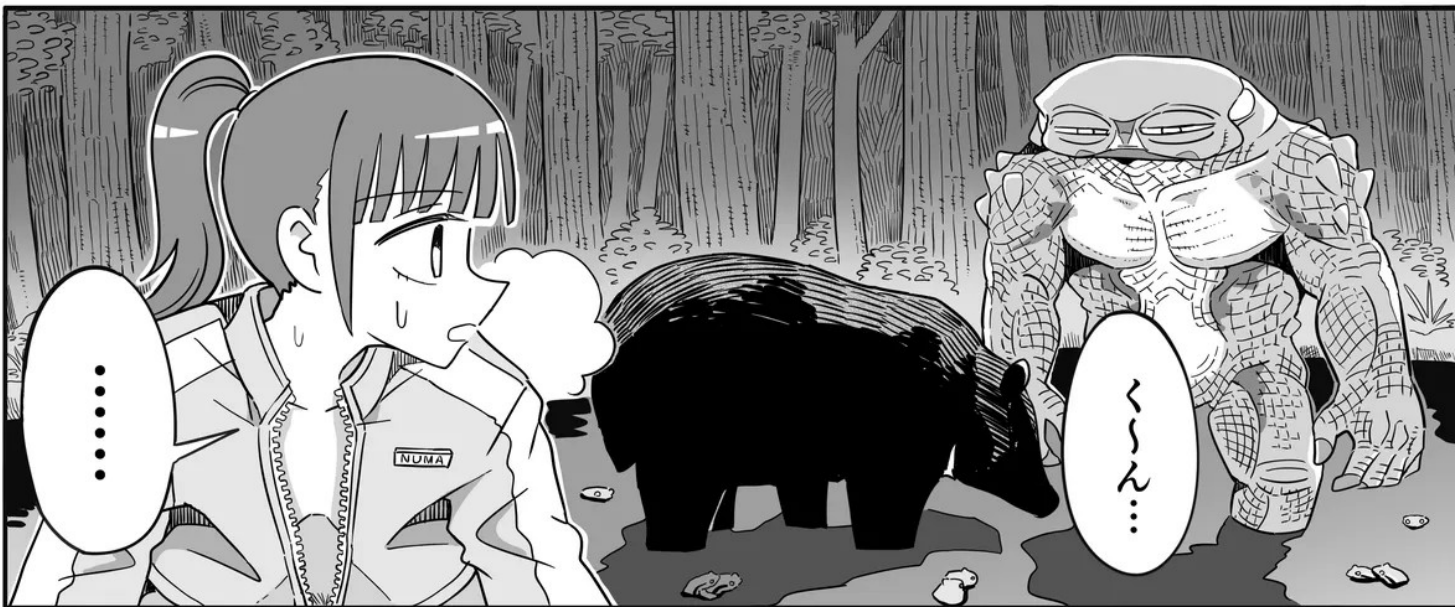






クオツ…

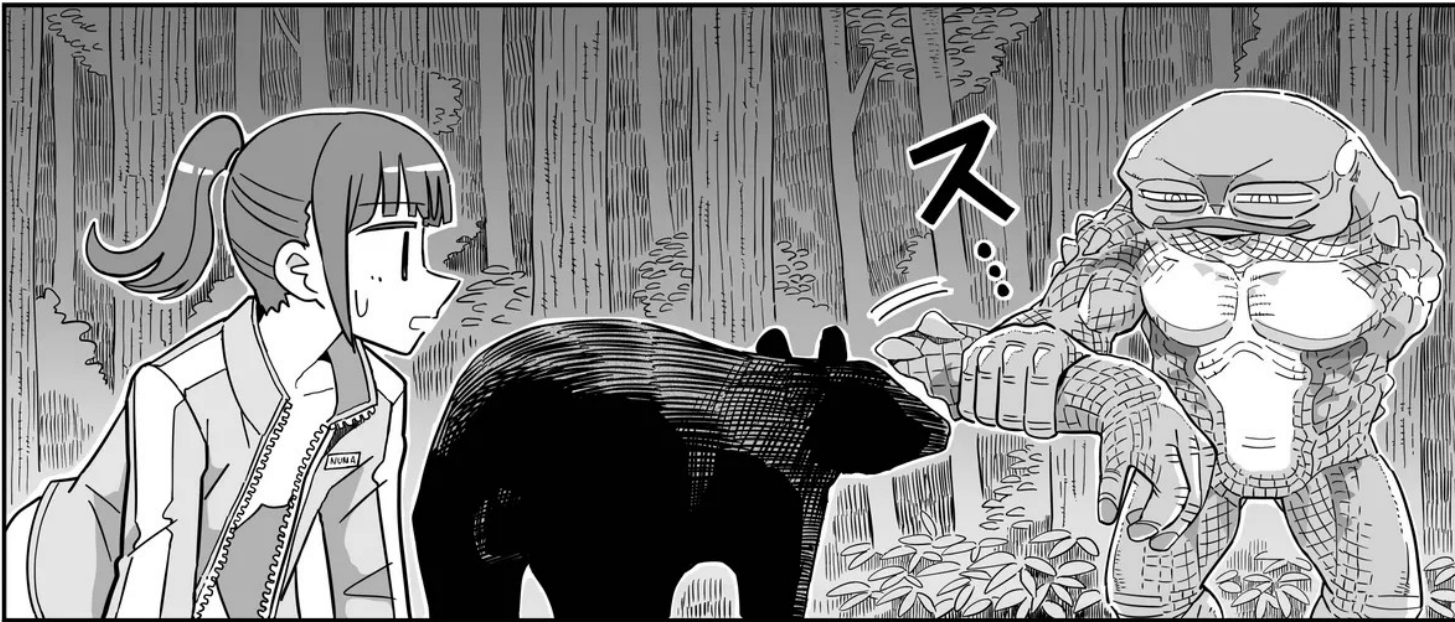


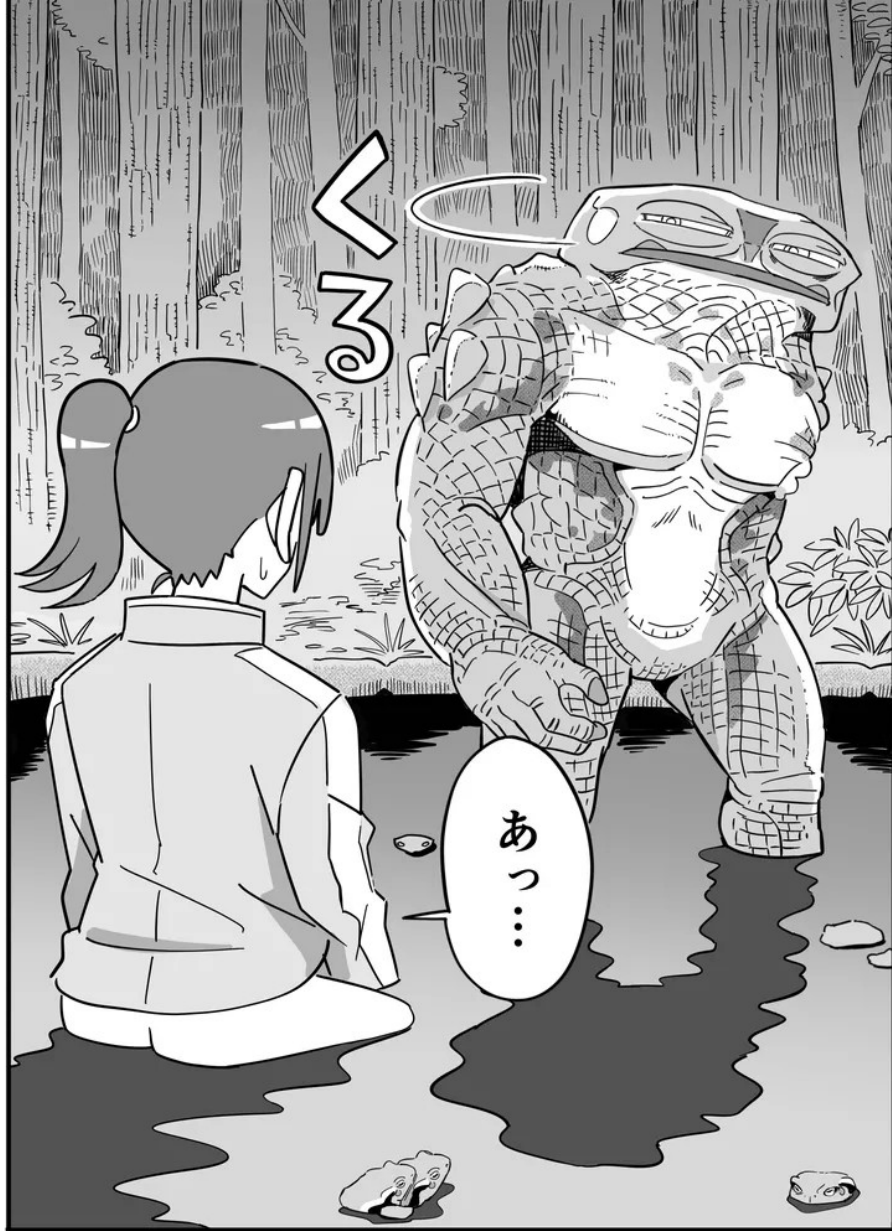


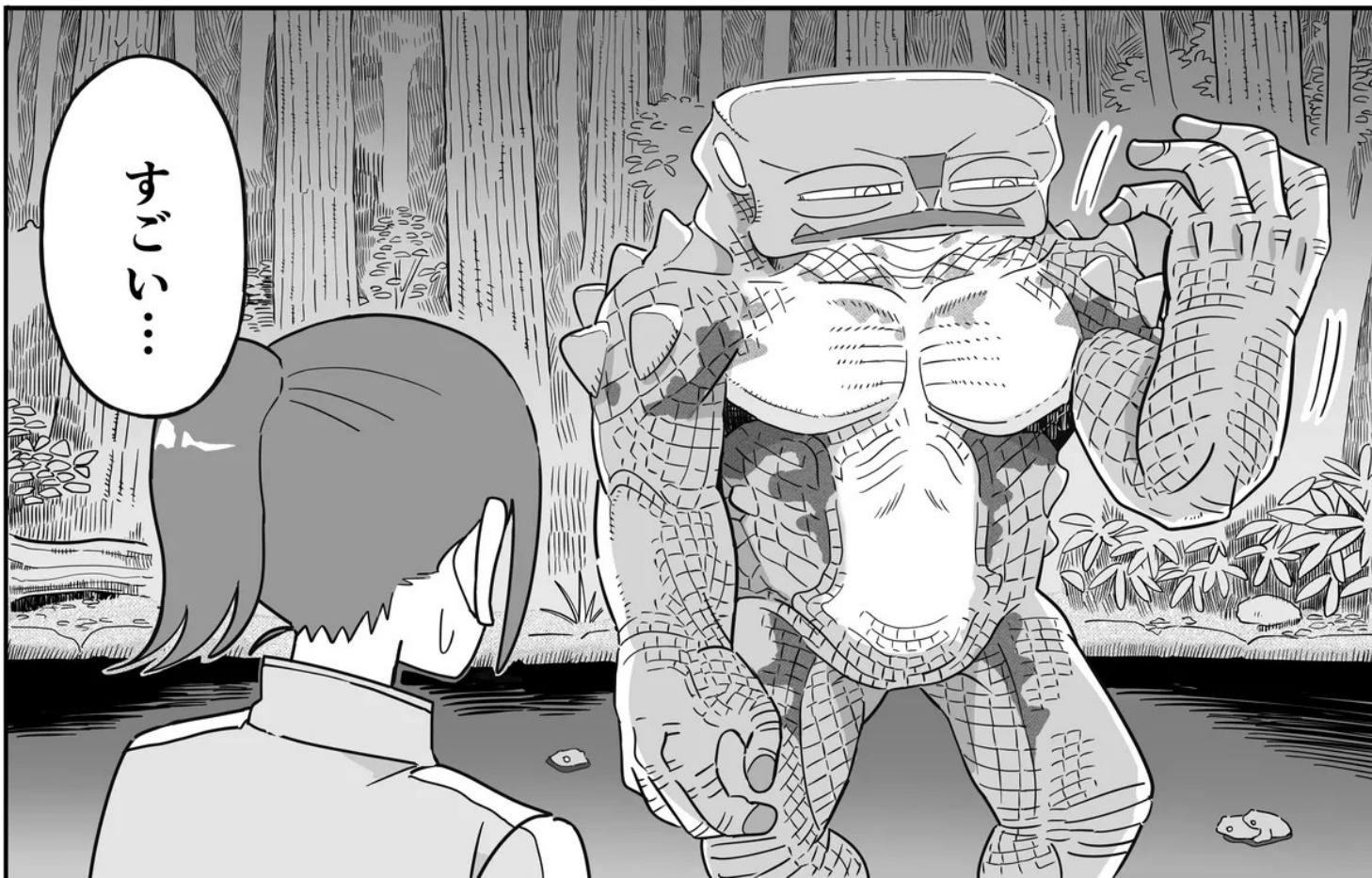


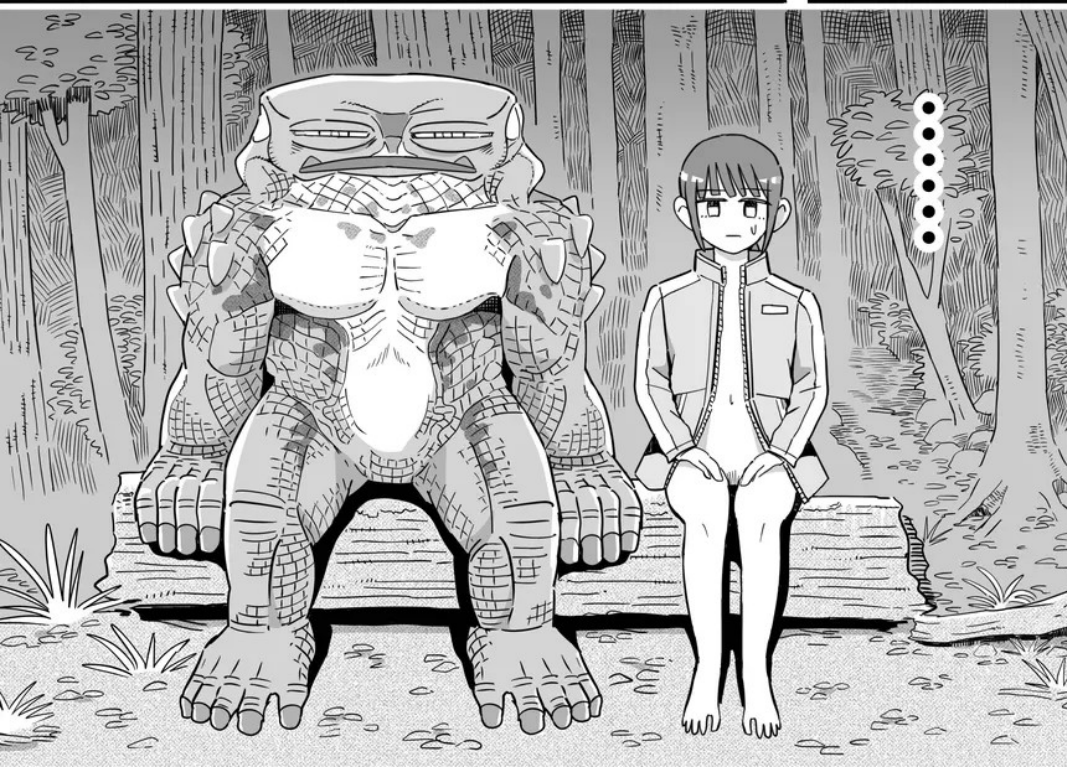
ええ!?

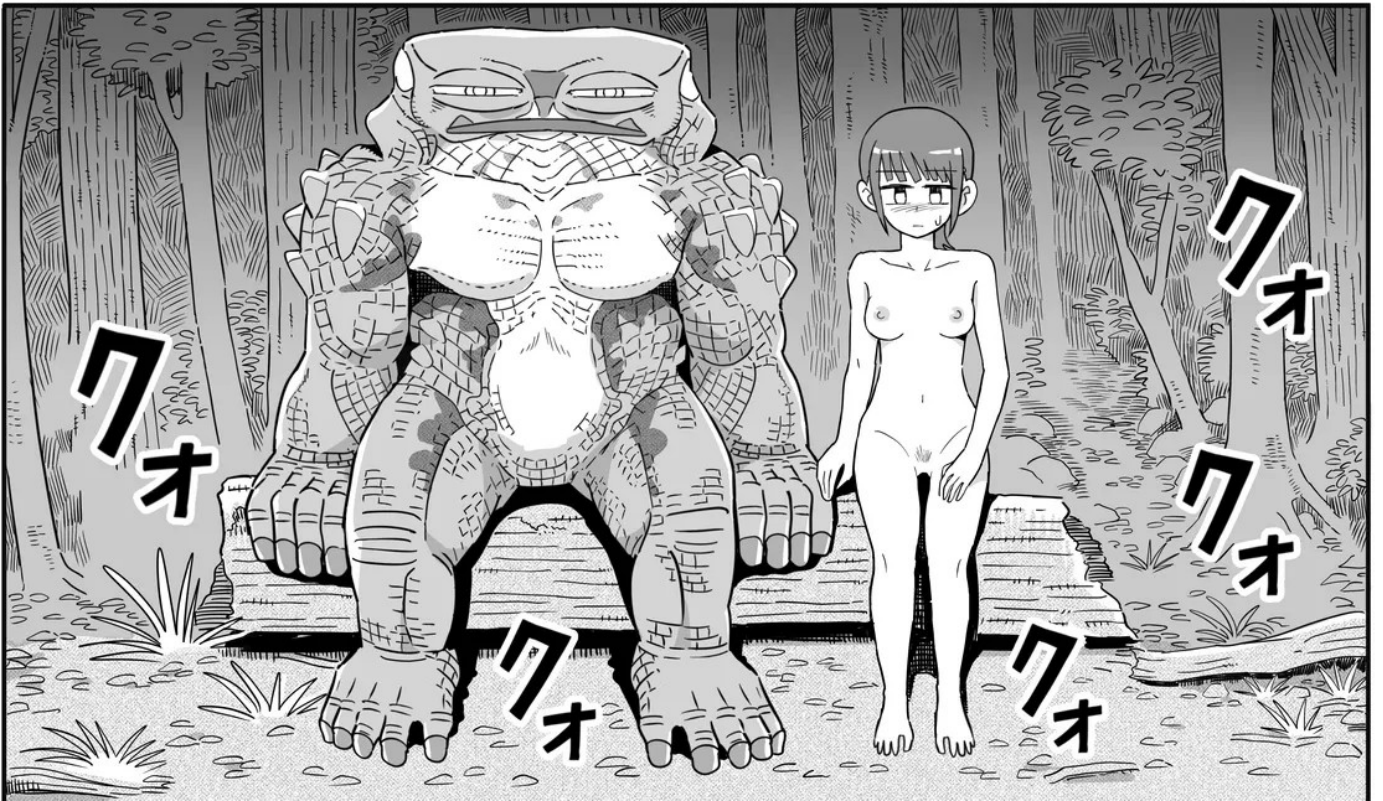
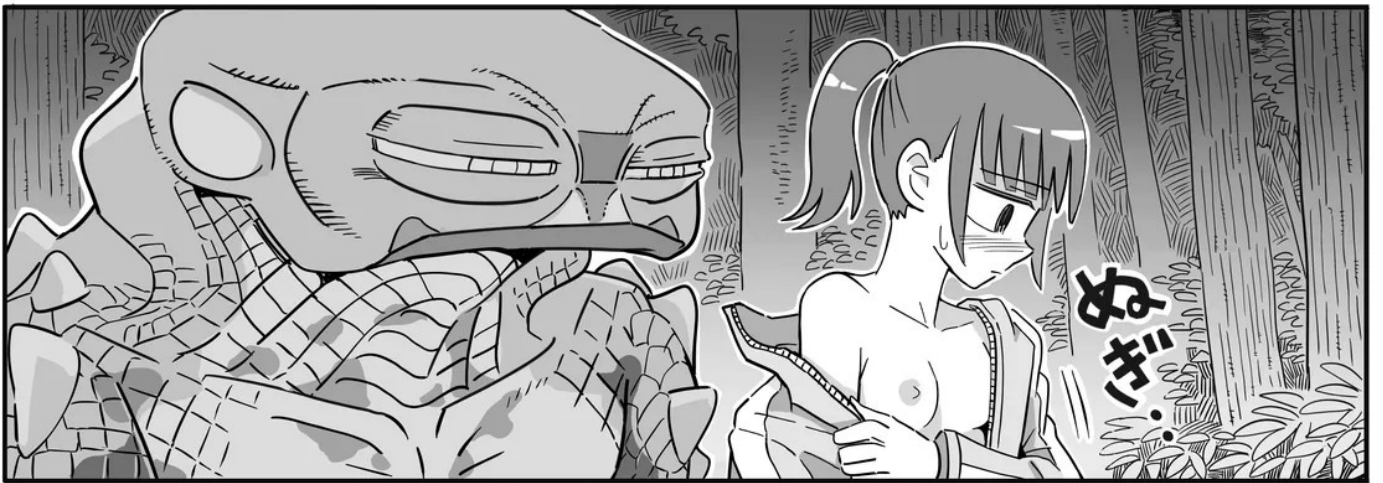
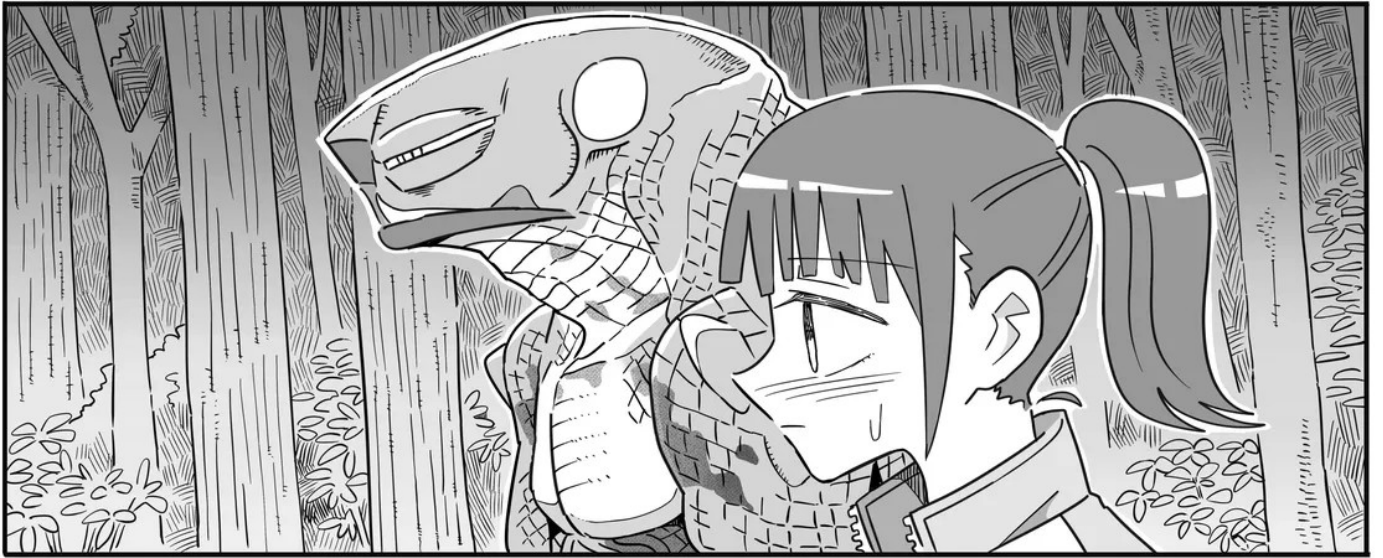














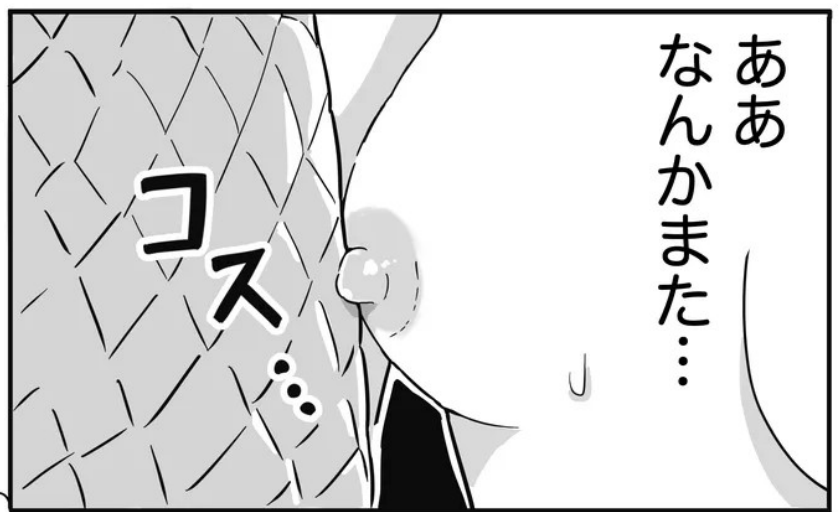
肌：
意外と温か
いんだ...



キュ...



ハア
ハア
ハア



コス...

ああ
なんかまた...



変な気持ちに
なってきた...

ムズ...

よければ私と
しませんか…

あの…

あつ…





神様(?)
的な相手に...

私のバカ:
調子にのって
こんな事して...



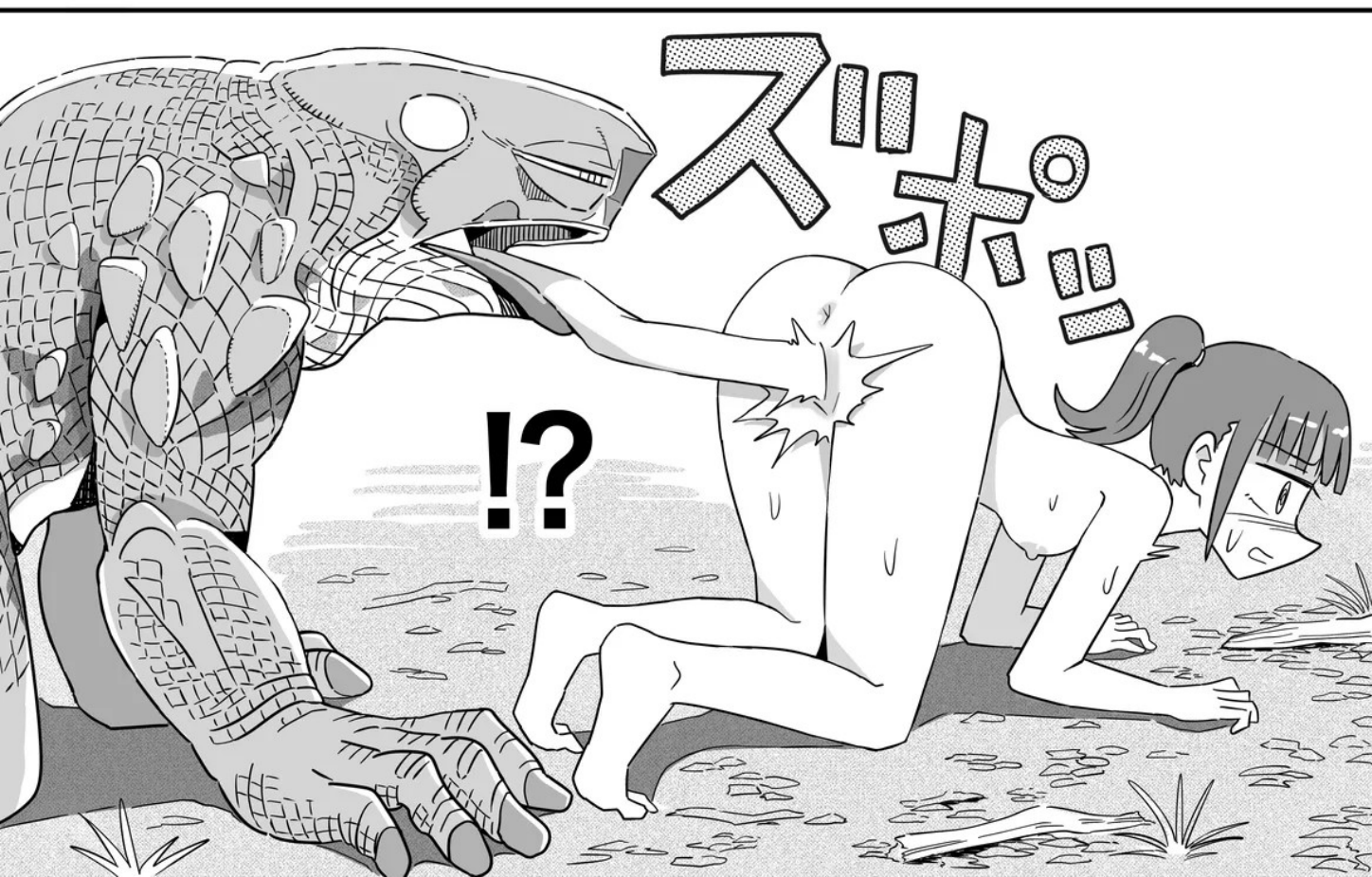
盛りの
ついた雌猿と
思われてるかも
しれない!

ああ
消えたい...



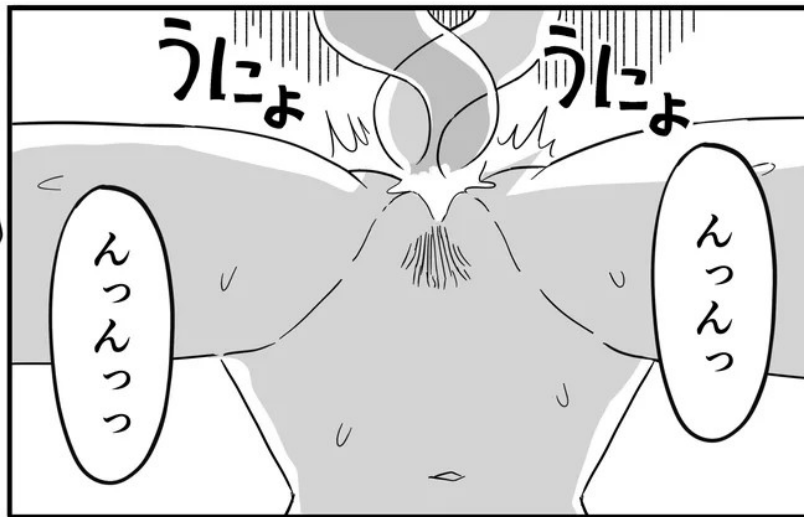
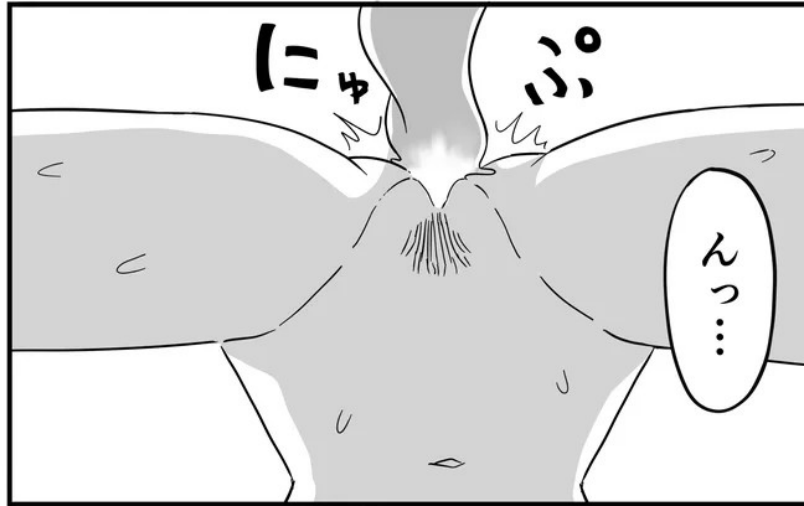
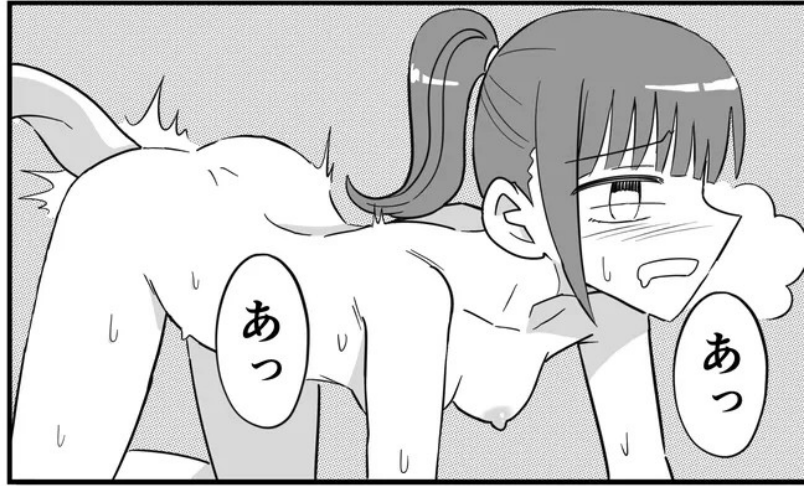
しまった:
カエルには

付いて
なかつた
:!!



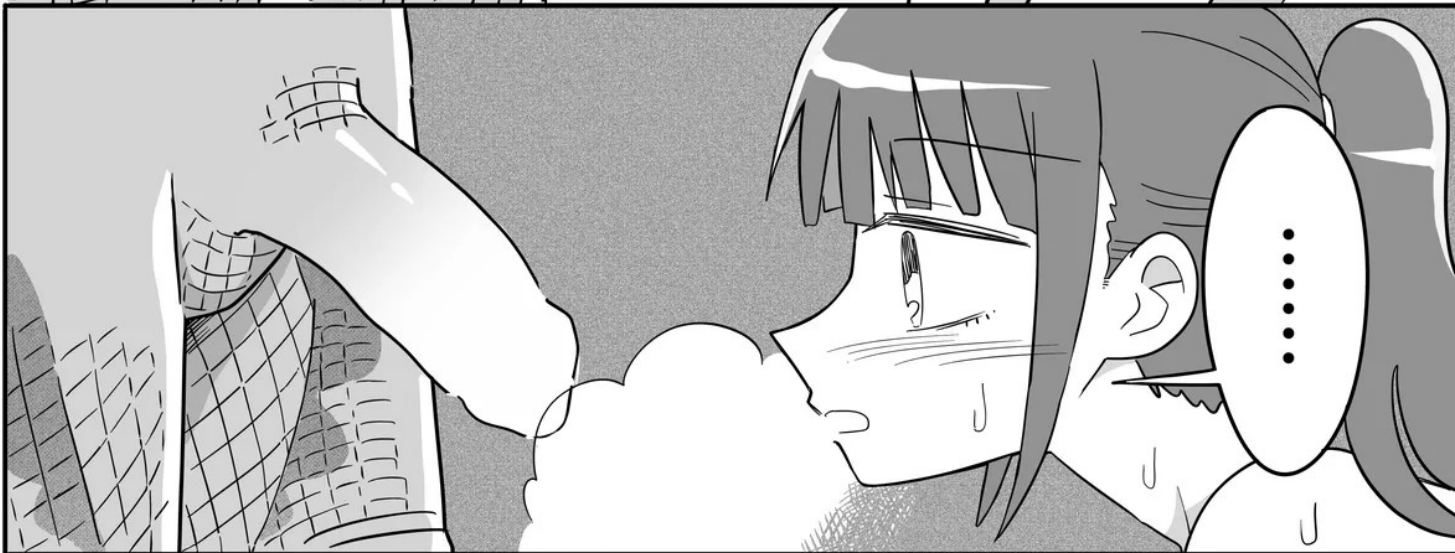
スッポ

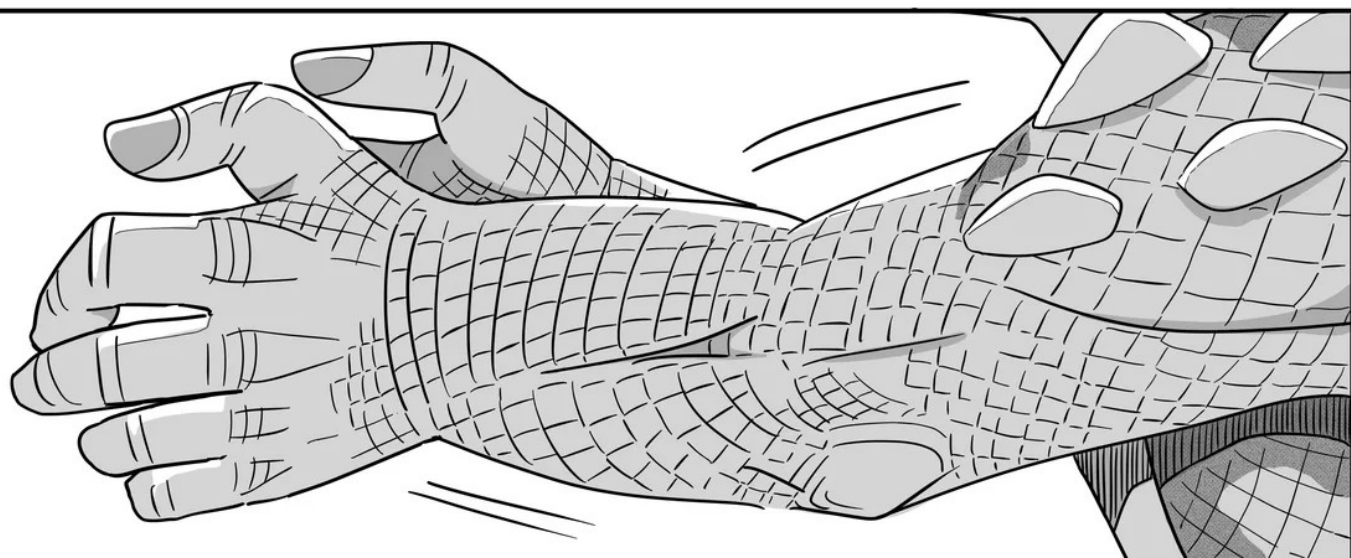
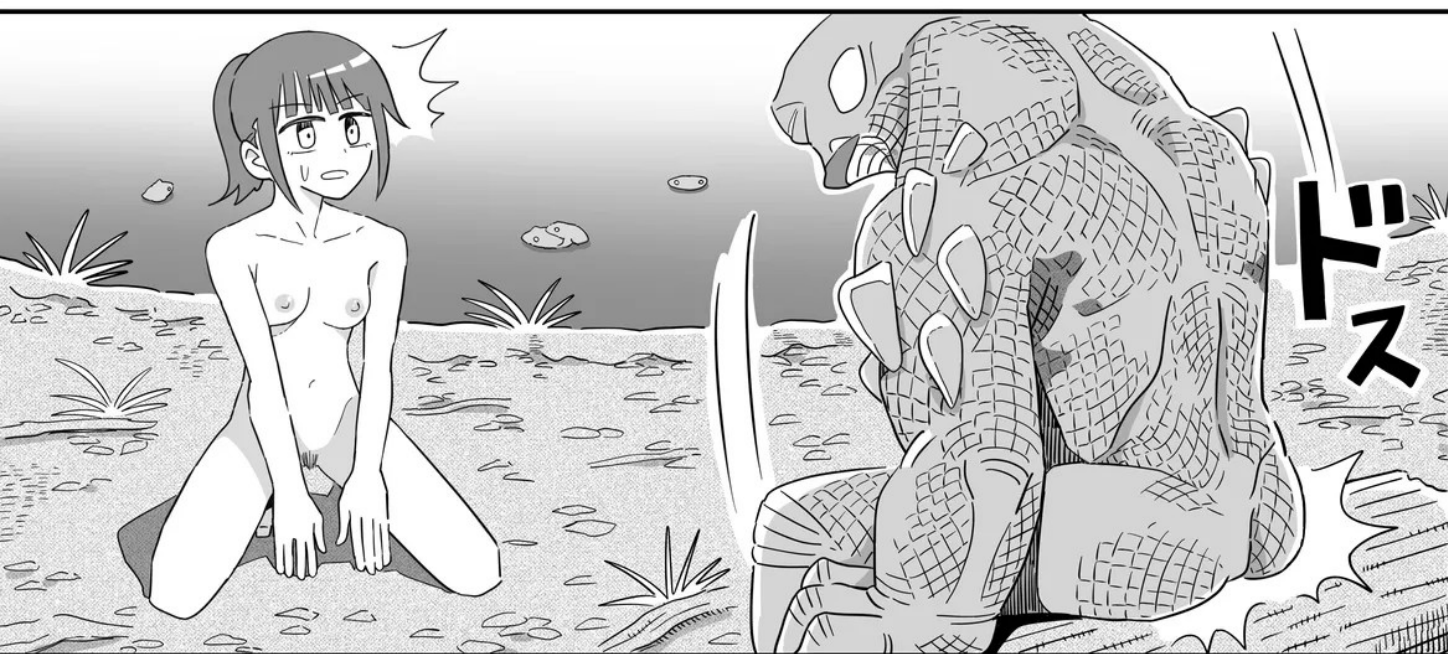
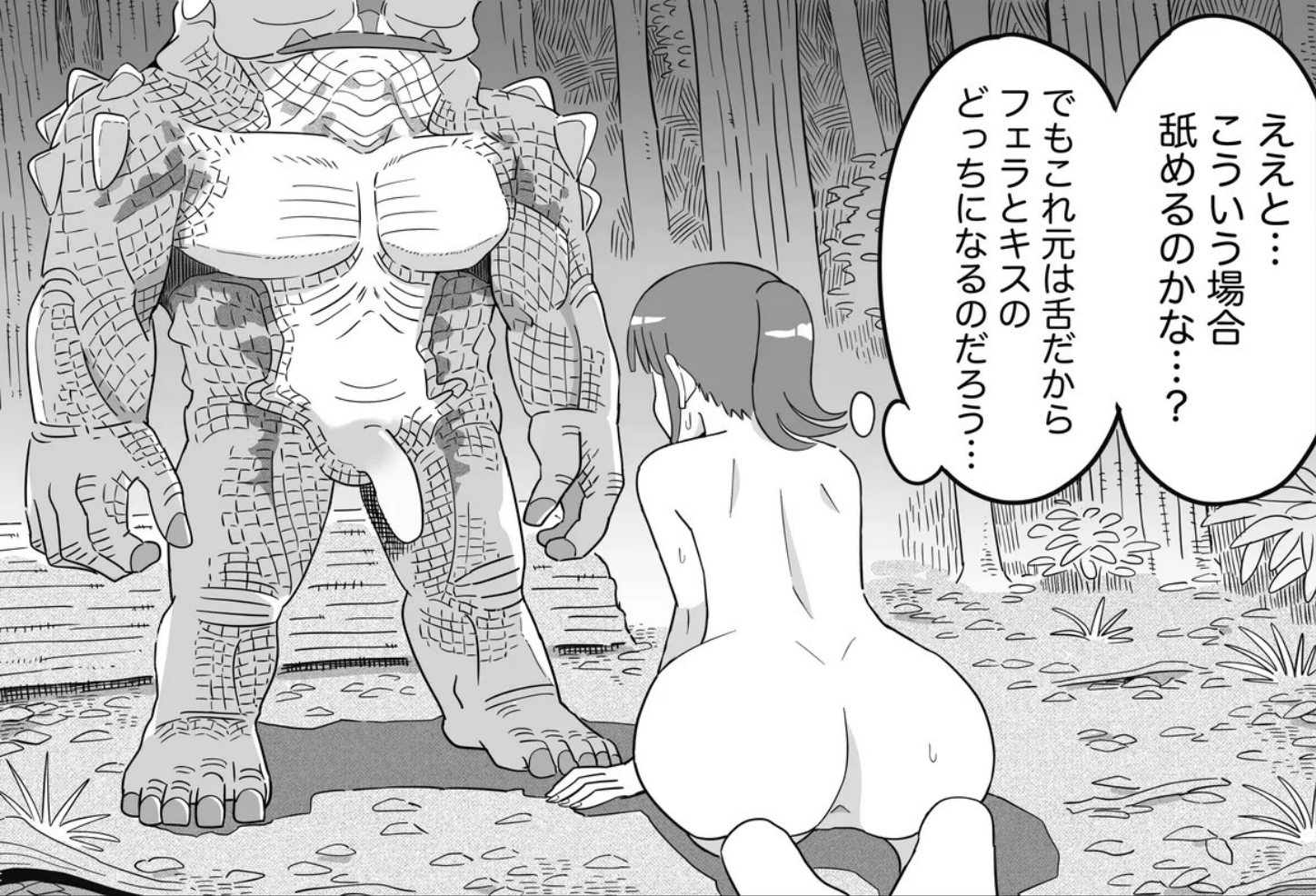
!?

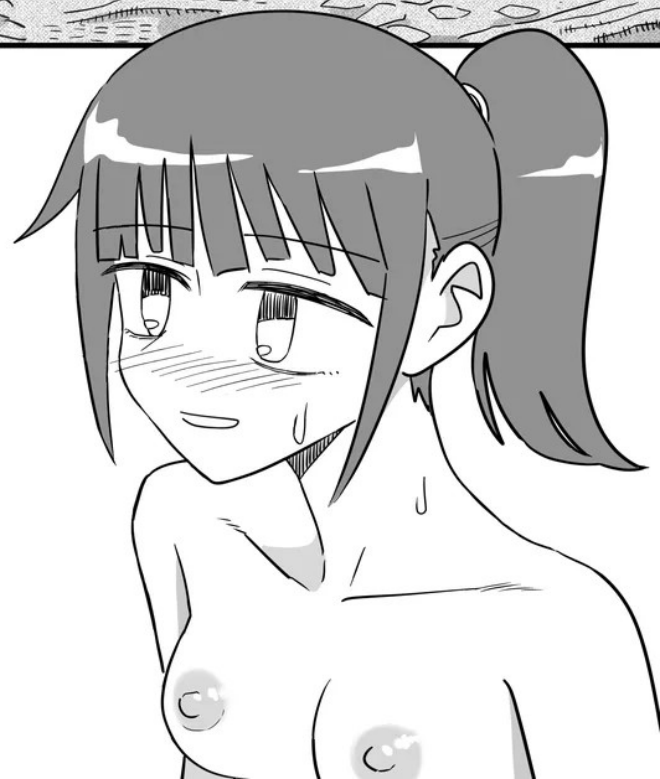




生えた!!

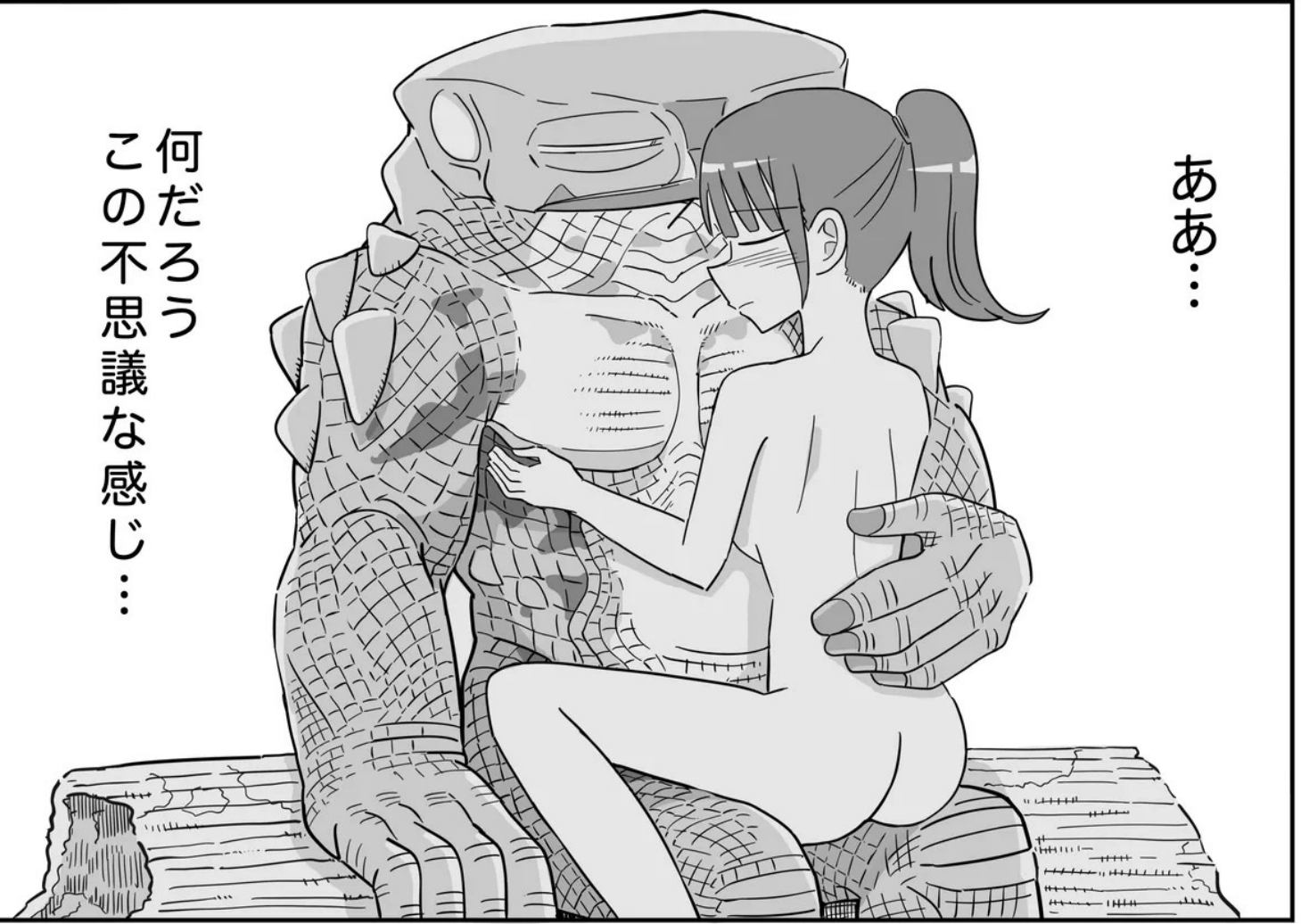






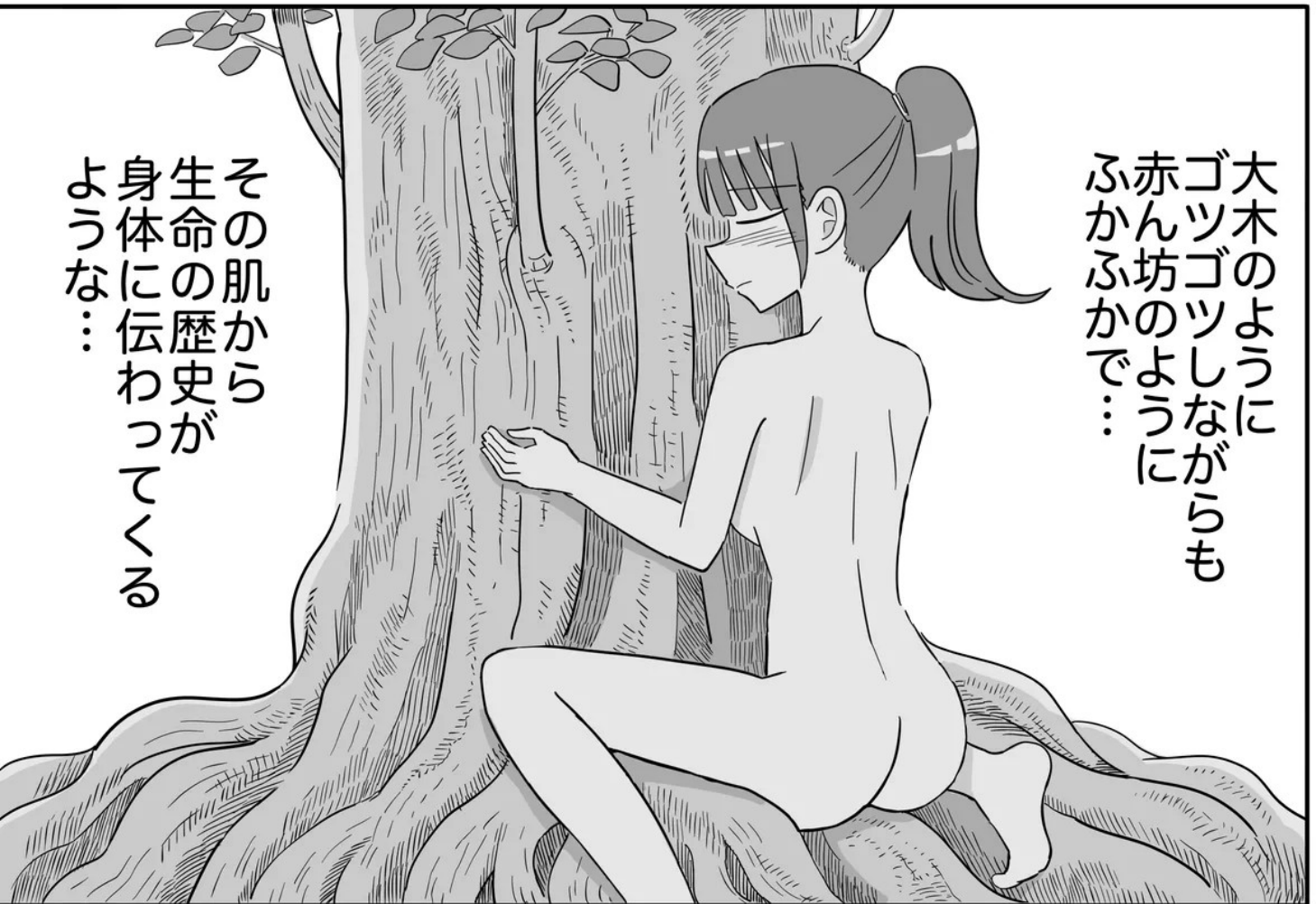
ああ…

何だろう
この不思議な感じ…



大木のように
ゴツゴツしながらも
赤ん坊のように
ふかふかで…

その肌から
生命の歴史が
身体に伝わってくる
ような…



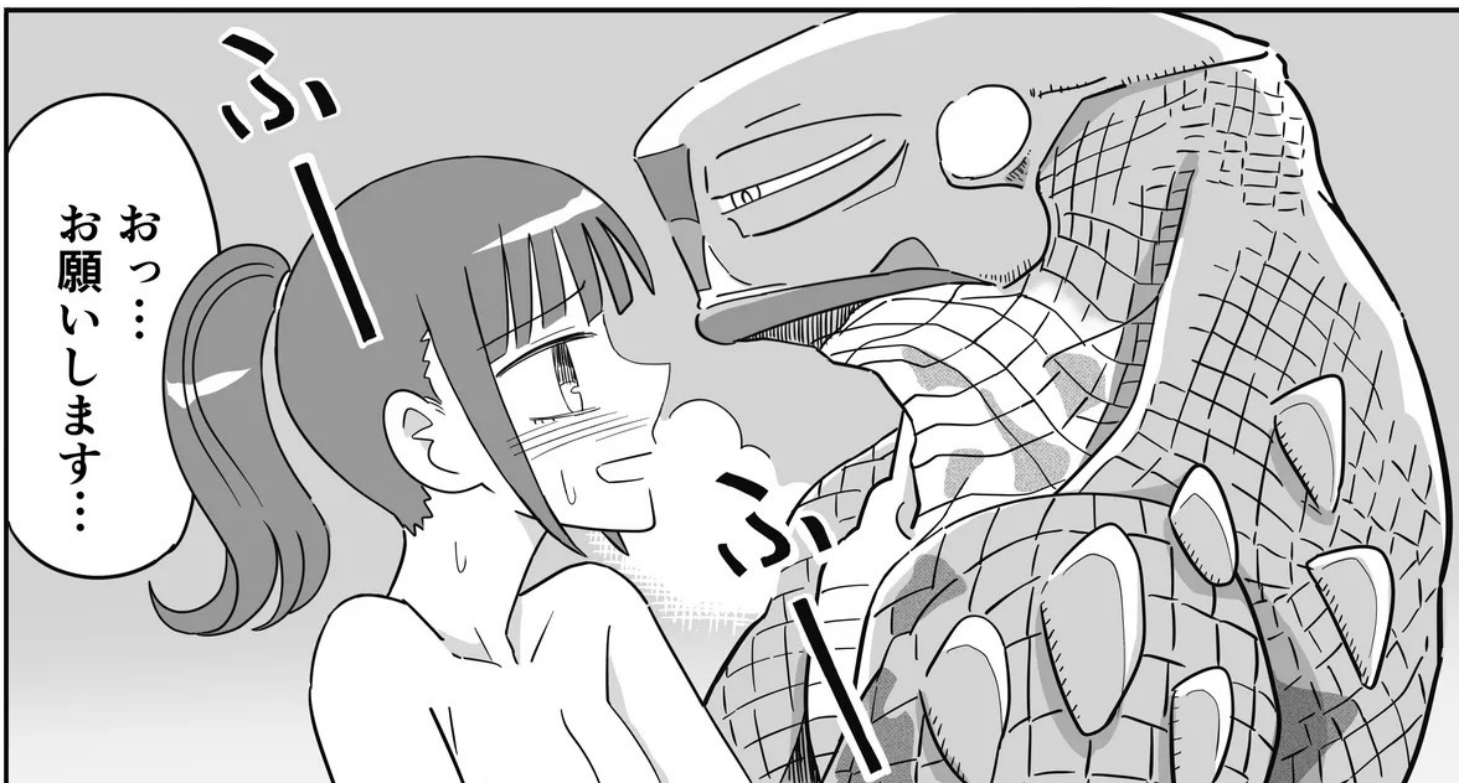
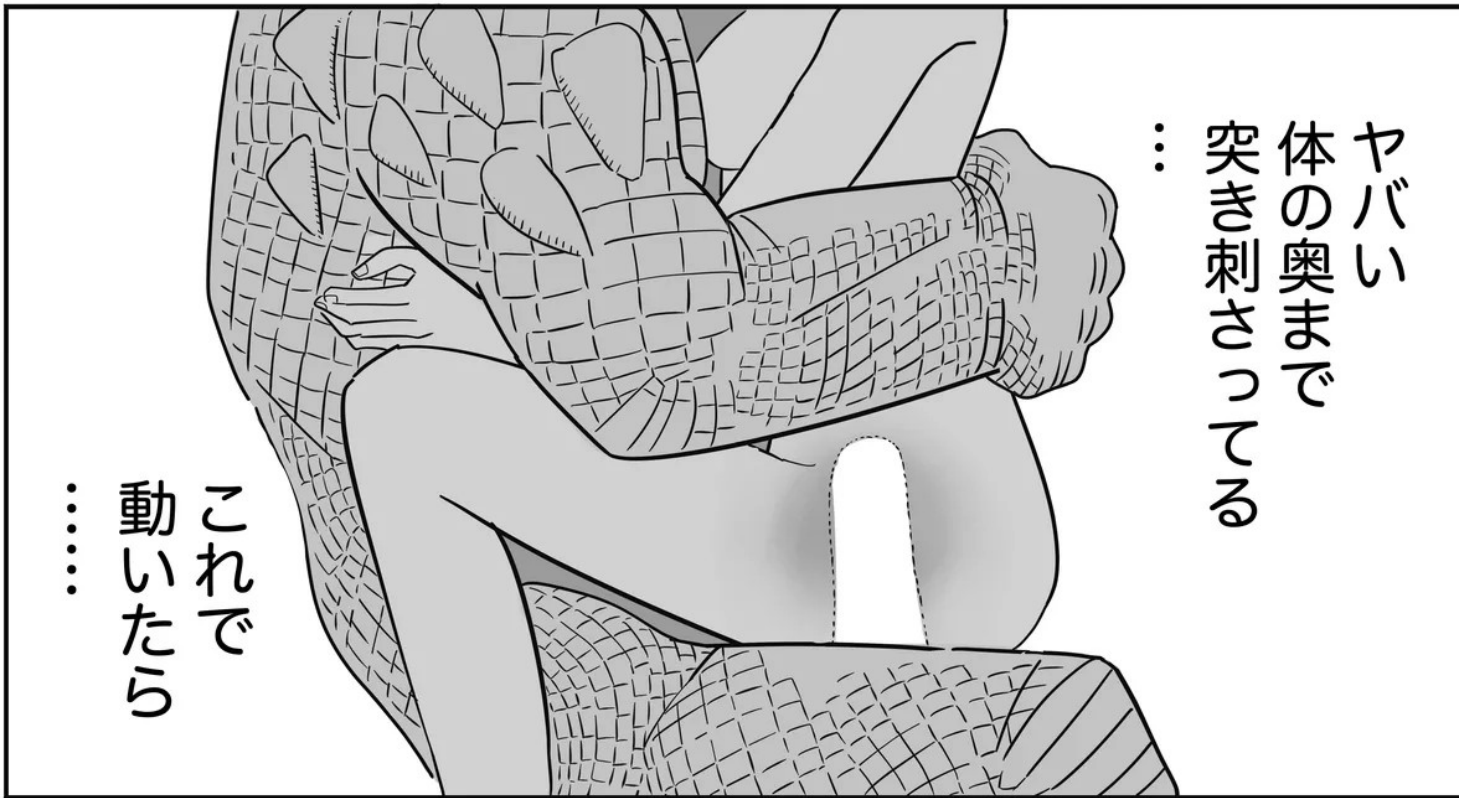




みり

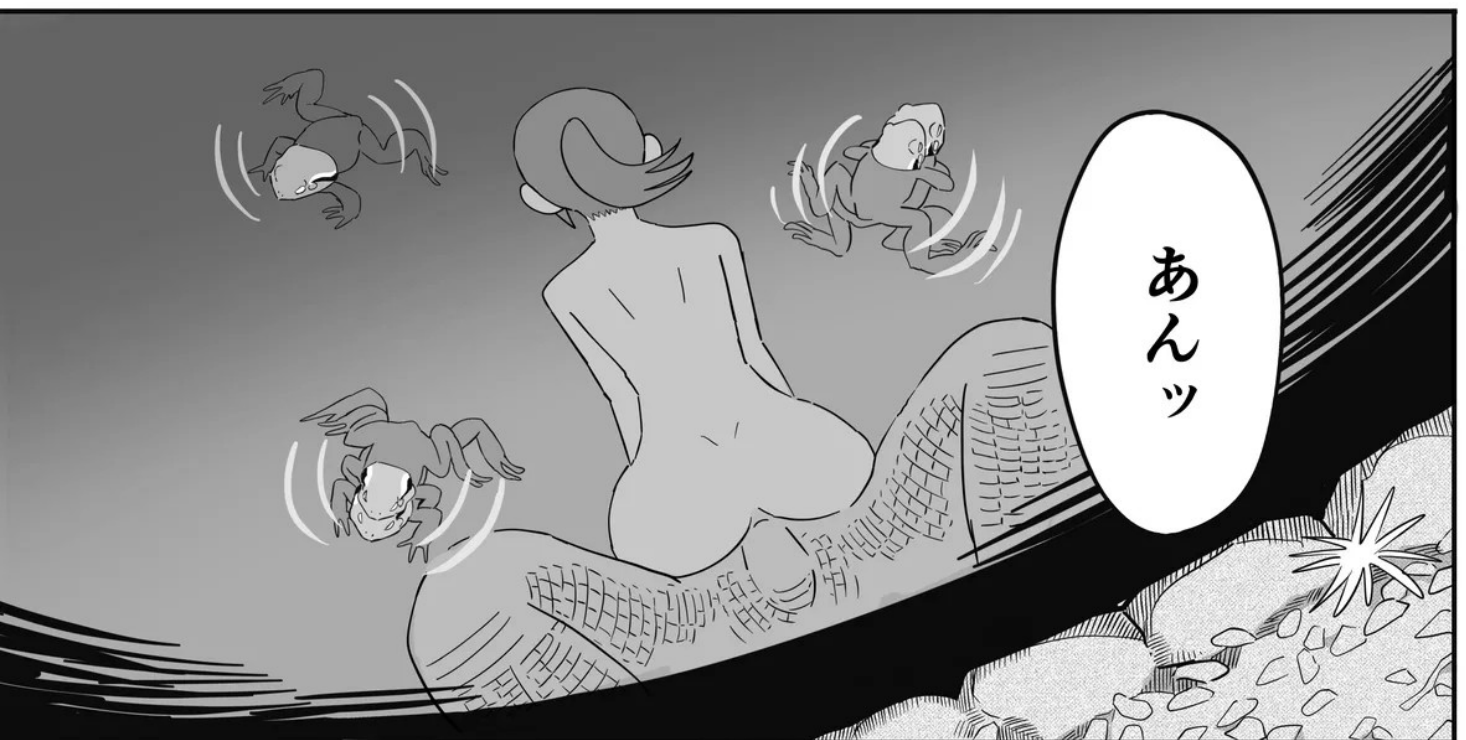
あん

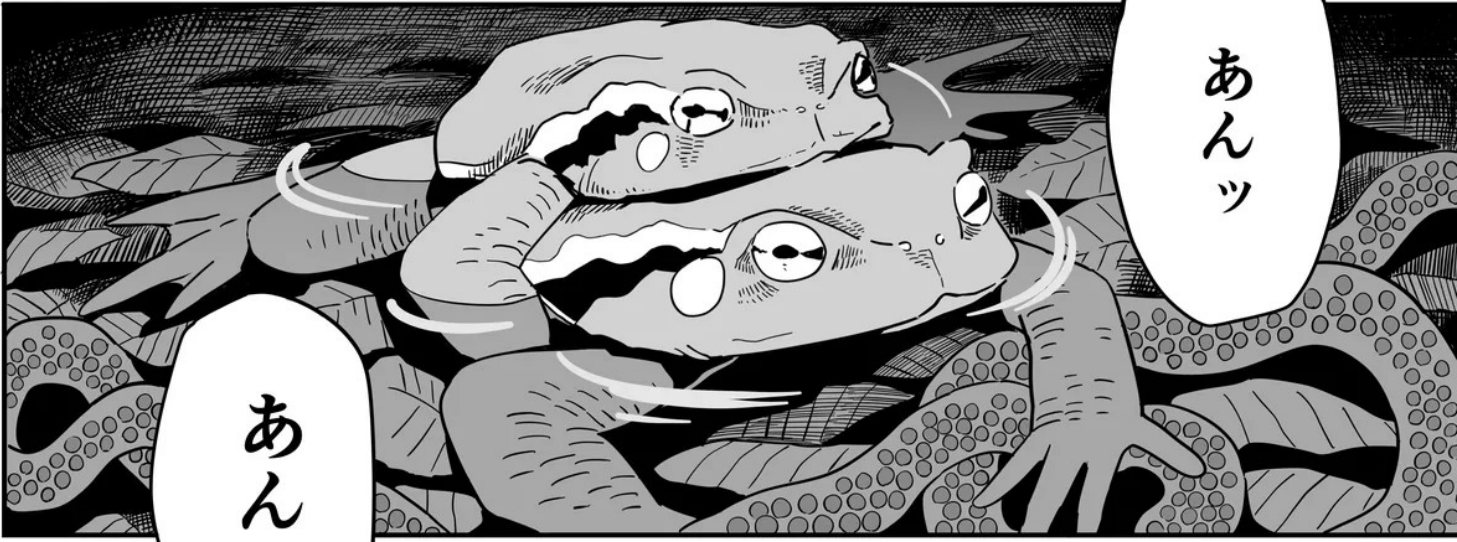
アッ









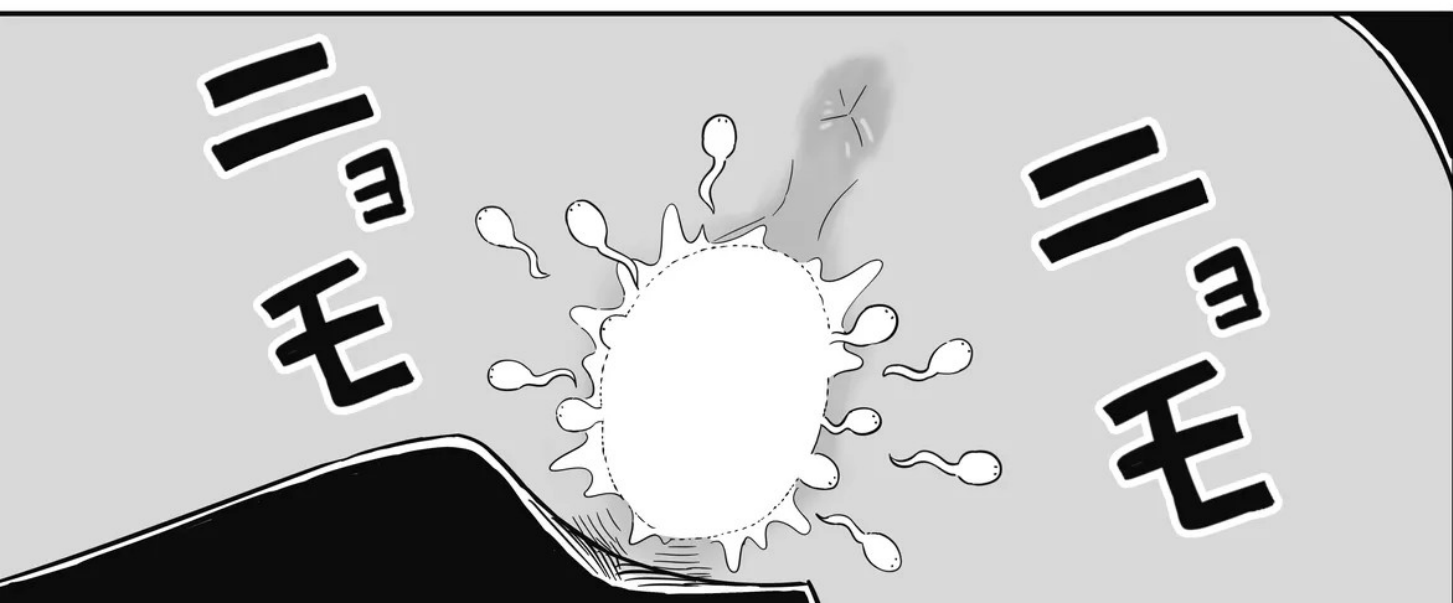
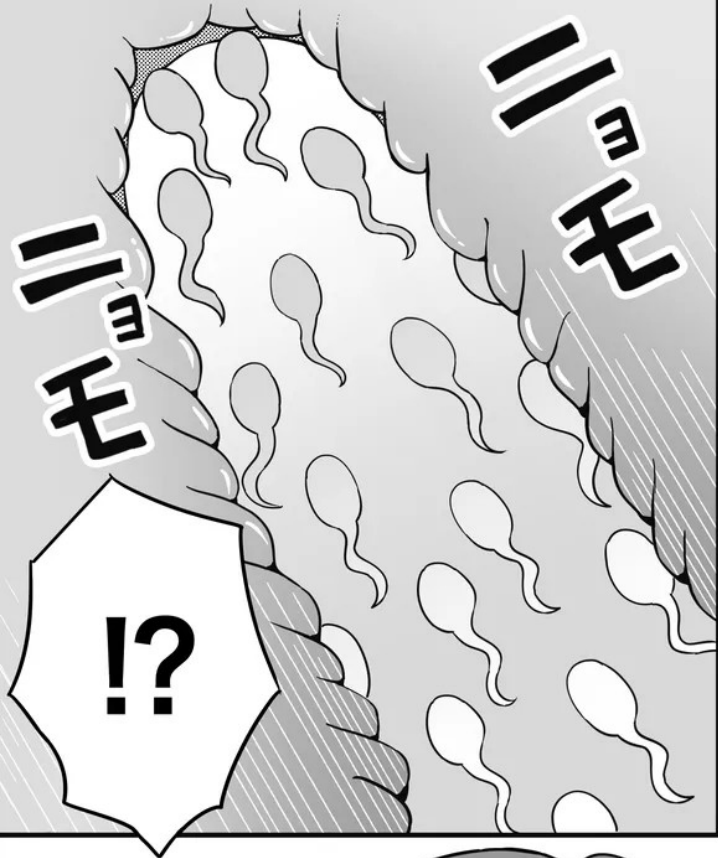


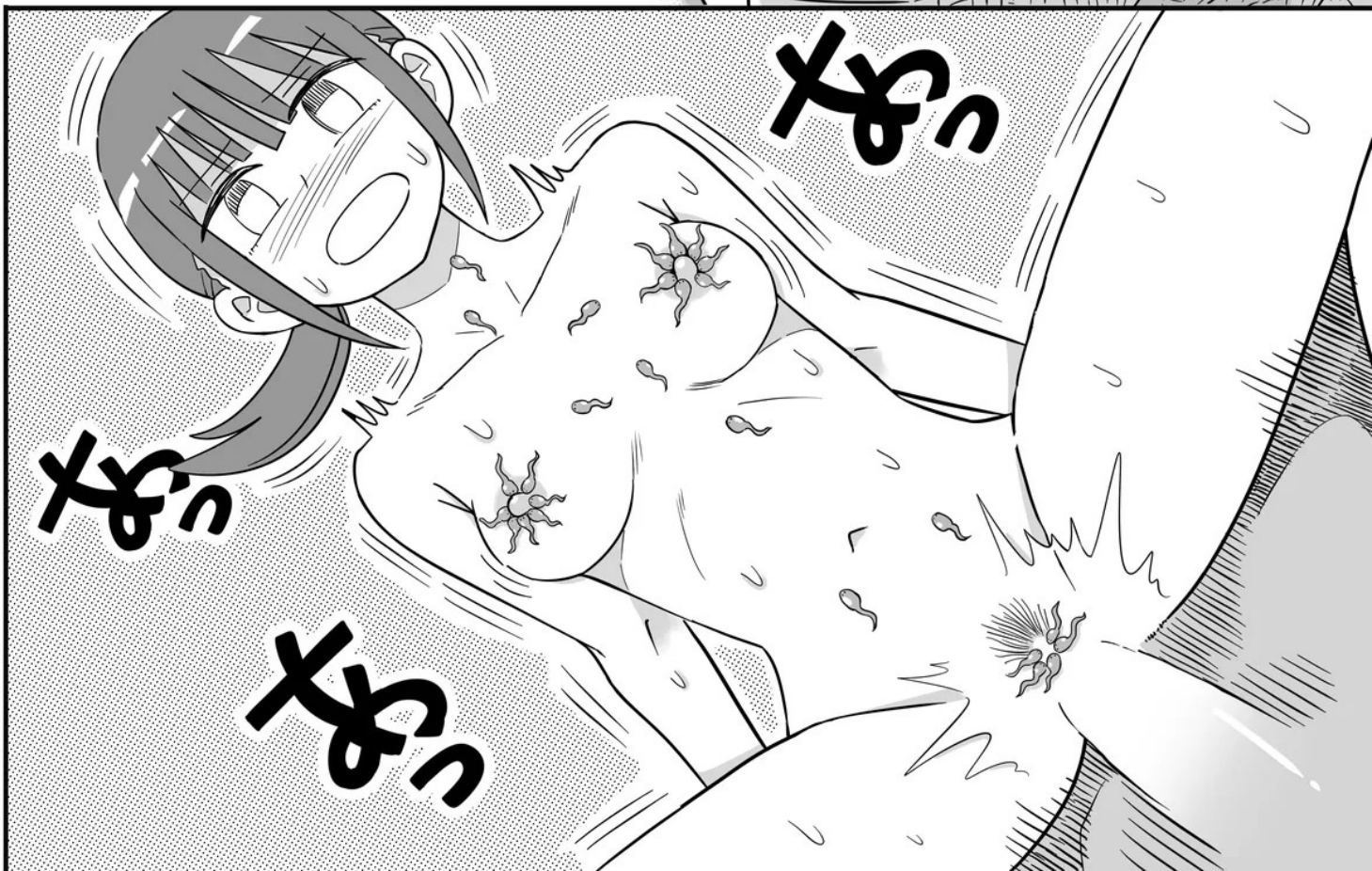
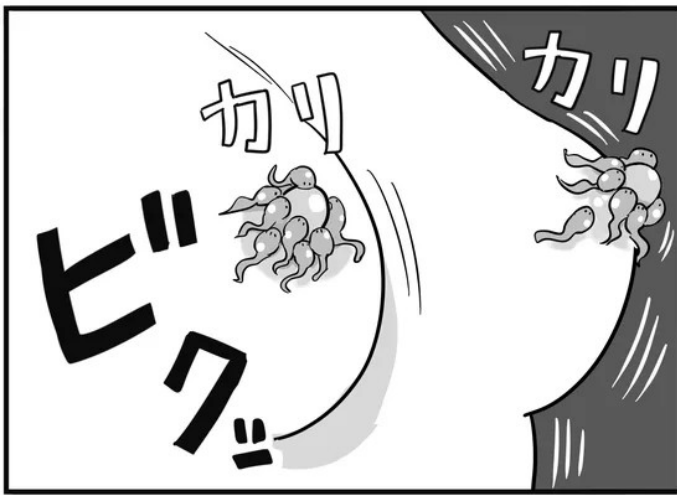
あんツ

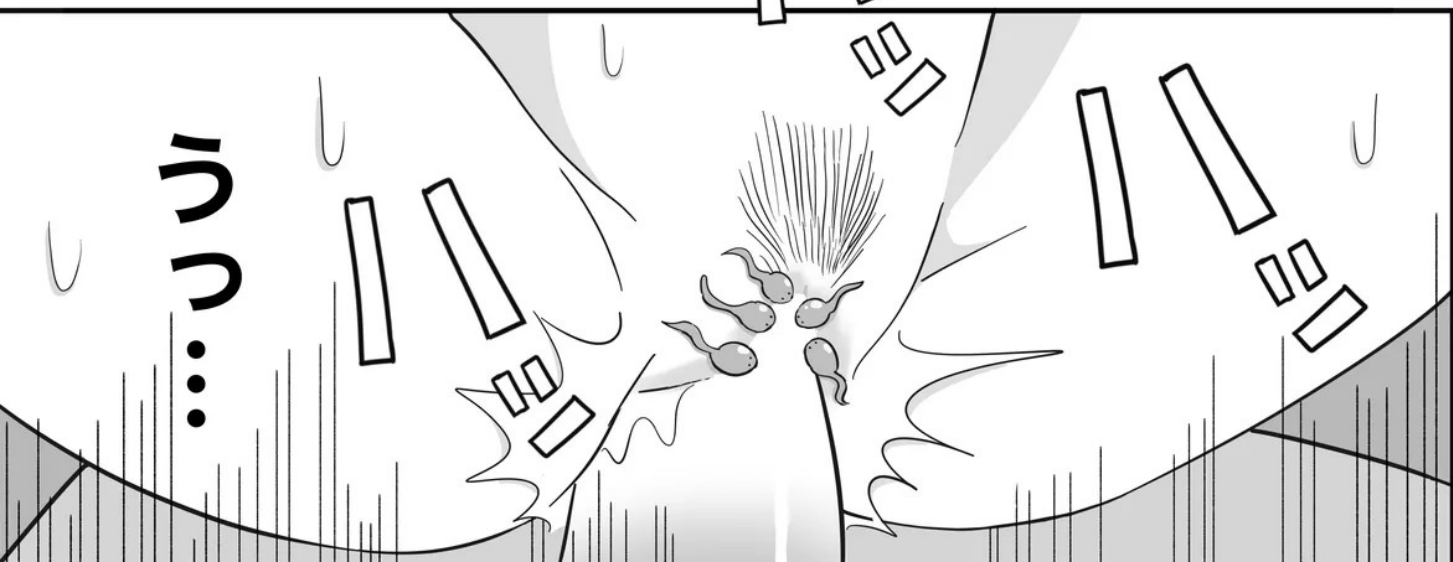
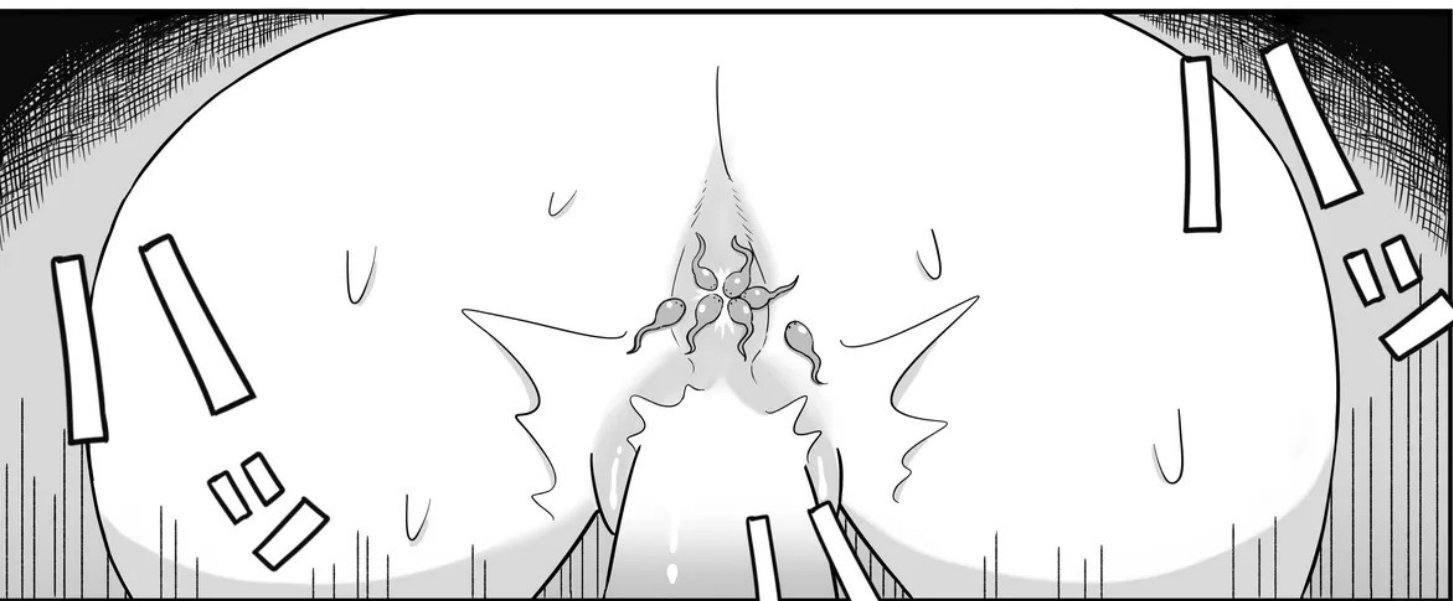
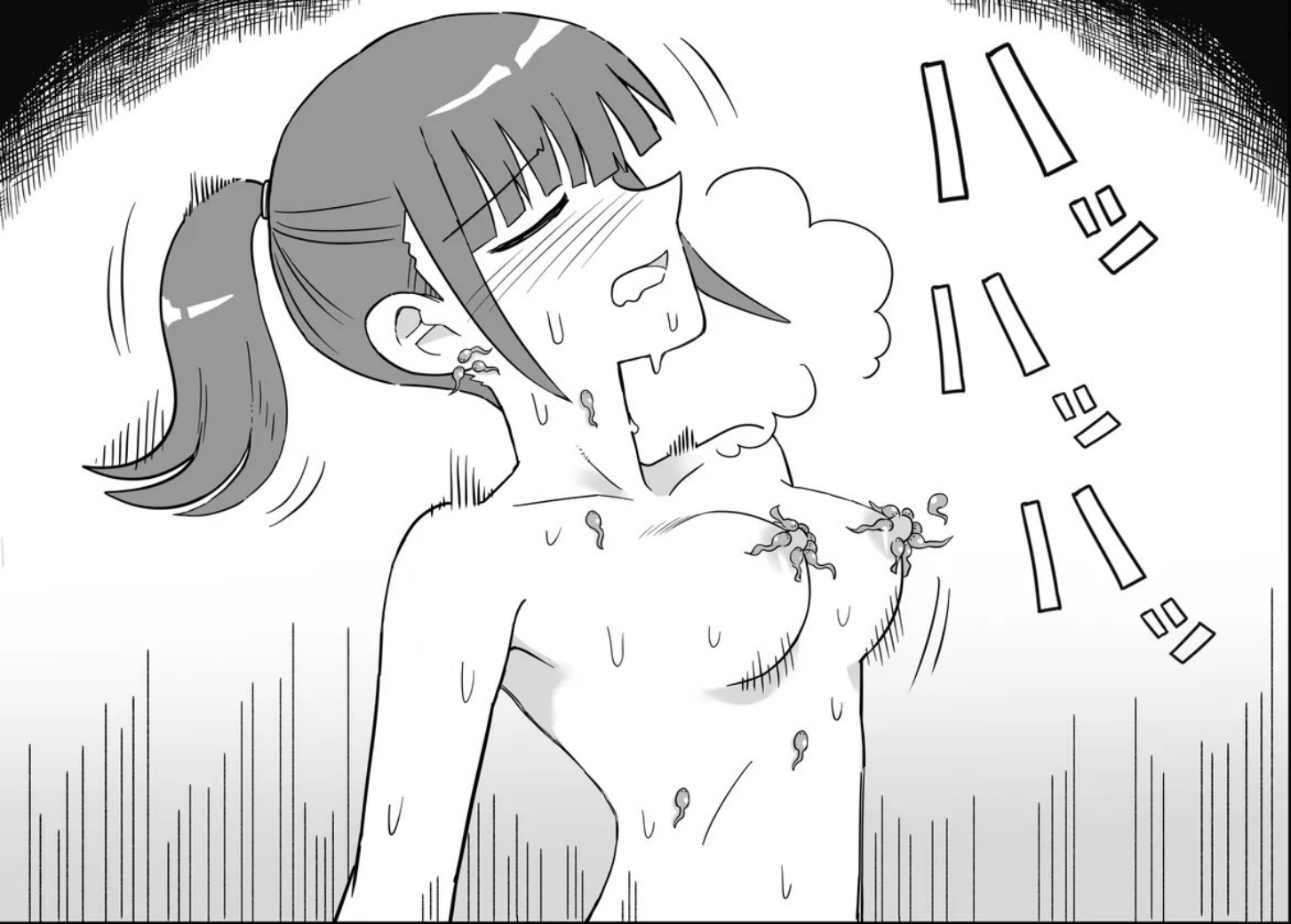
あんツ



あんツ

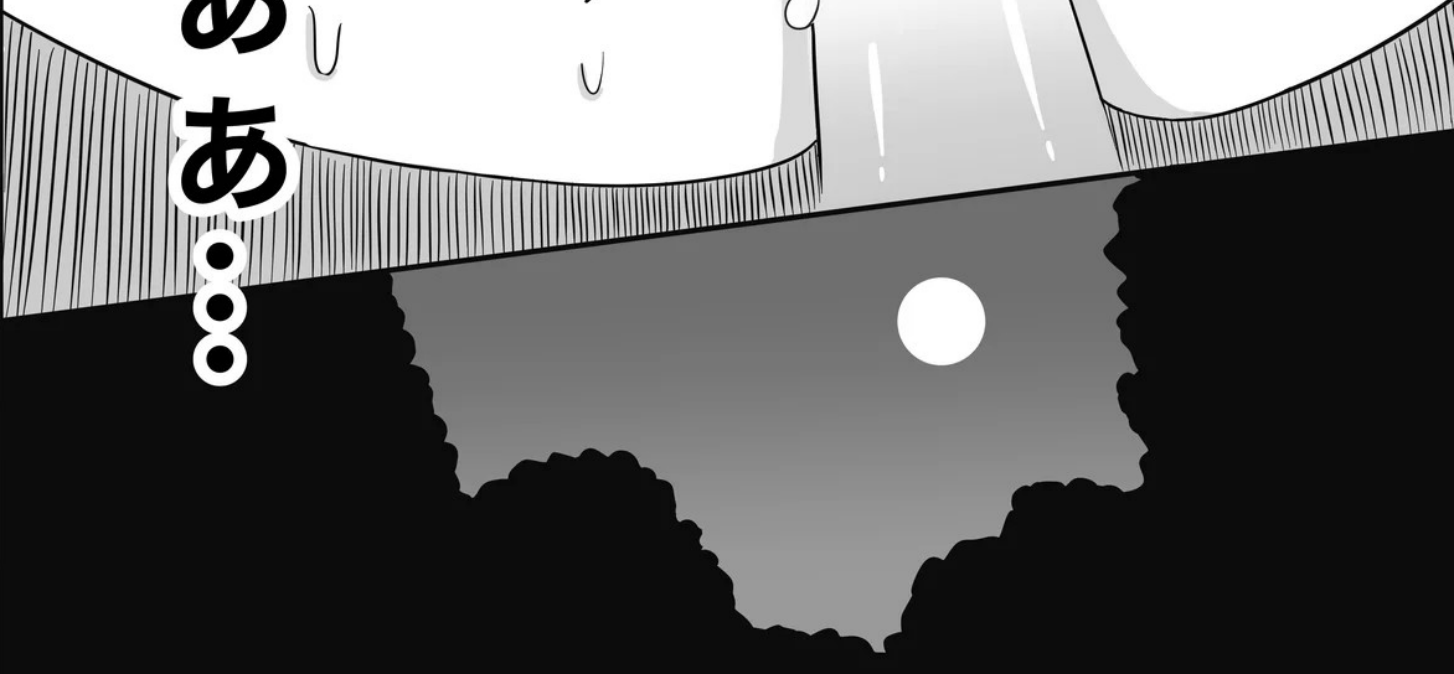


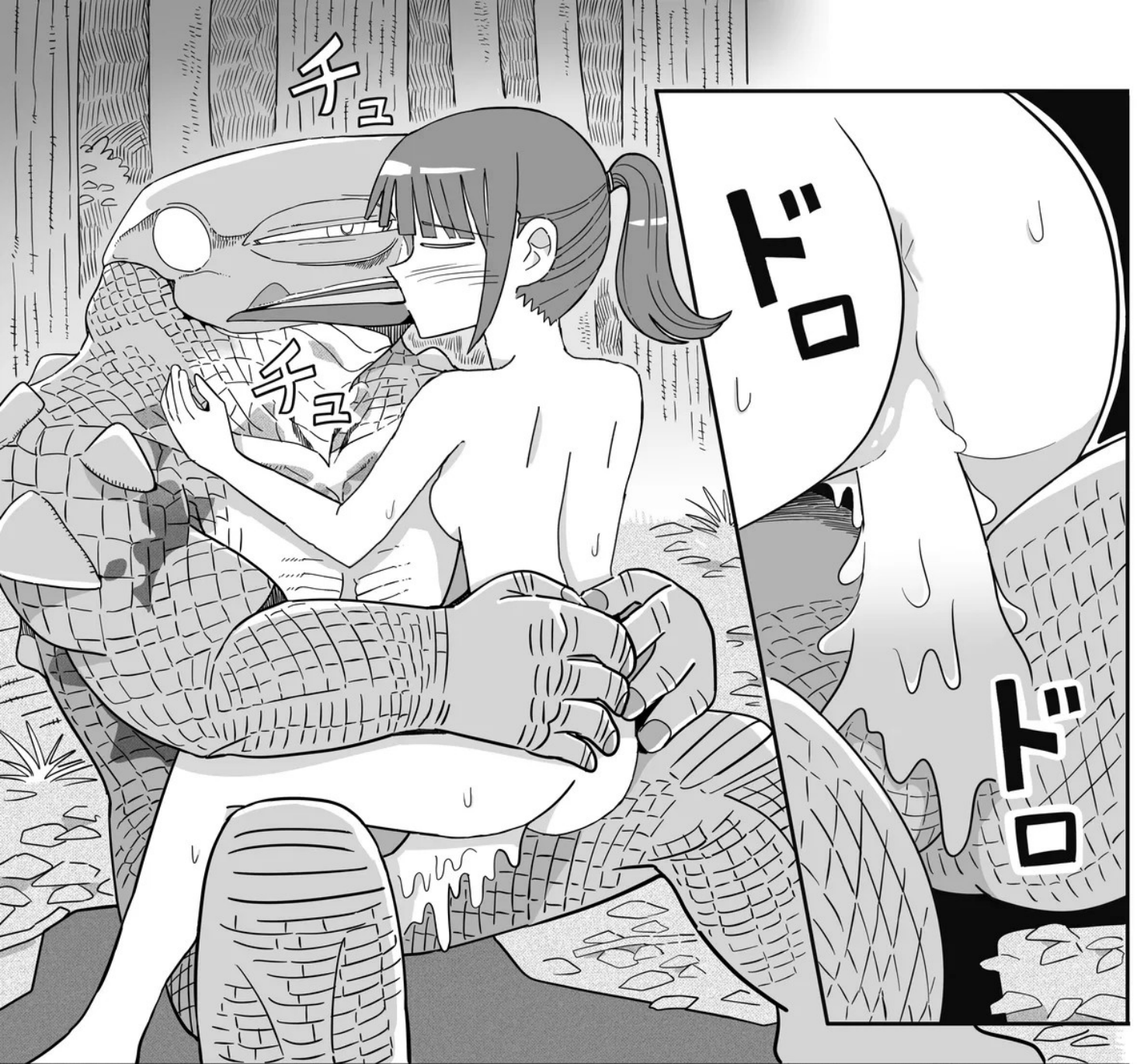




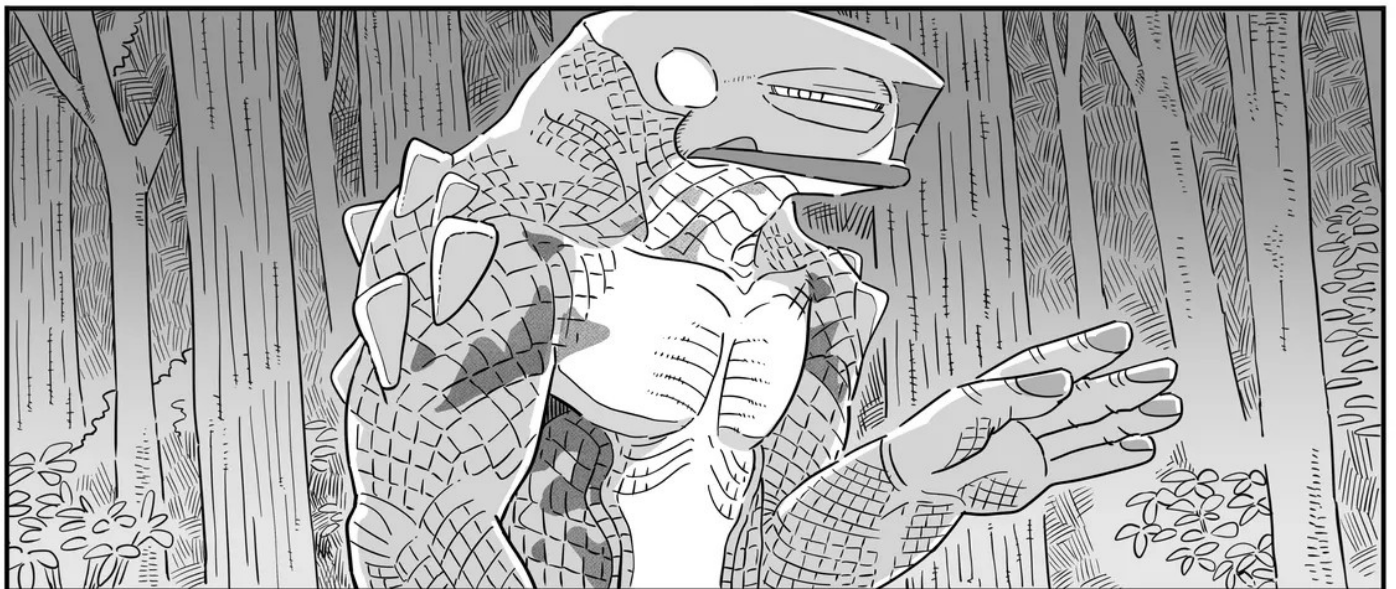


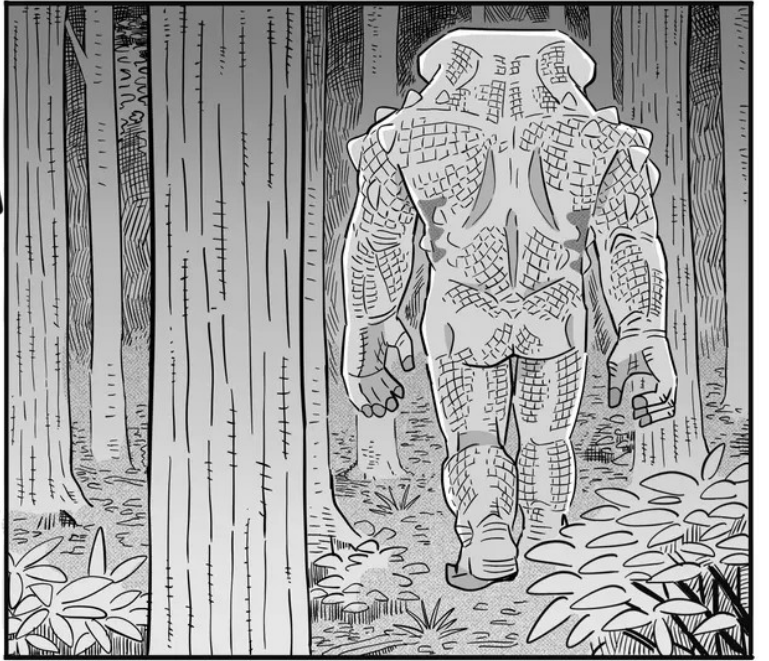
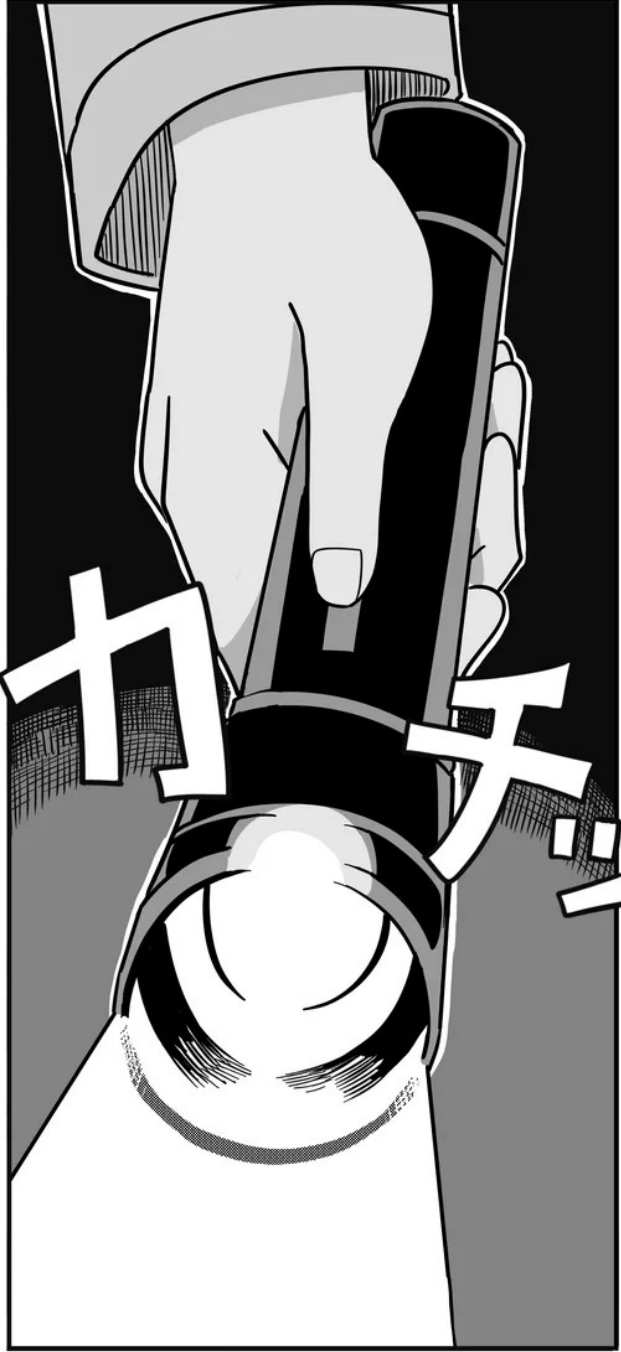
うああああ











その後この山には
何度か通ったが
彼とはもう出会う
ことはなかった

それでも私は
あの日の夜のことは
ずっと大切に覚えて
いくことだろう

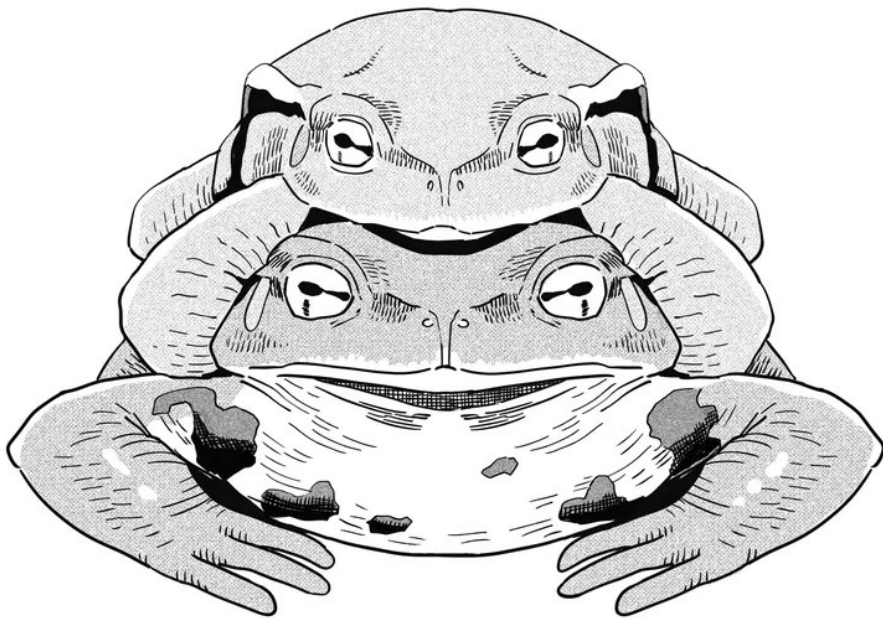
クオ

クオ

クオ

クオ





Hikigaeru

発行日 2025年11月

著者 沼田水園

X <https://twitter.com/hirota249>

Pixiv <https://www.pixiv.net/users/176292>

本作の無断転載・複写・Web上へのアップロードを禁止します。